



Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS ソフトウェアのアップグレードまたはダウングレード

この章では、Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレードまたはダウングレードの方法について説明します。ここで説明する内容は、次のとおりです。

- [ソフトウェア イメージ \(1 ページ\)](#)
- [ISSU について \(3 ページ\)](#)
- [Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレードの推奨事項 \(5 ページ\)](#)
- [Cisco NX-OS ソフトウェア アップグレードの前提条件 \(5 ページ\)](#)
- [Cisco NX-OS ソフトウェア ダウングレードの前提条件 \(6 ページ\)](#)
- [Cisco NX-OS ソフトウェア アップグレードの注意事項 \(7 ページ\)](#)
- [ISSU プラットフォームのサポート \(21 ページ\)](#)
- [Cisco NX-OS ソフトウェア ダウングレードの注意事項 \(35 ページ\)](#)
- [アップグレード パス \(39 ページ\)](#)
- [アップグレード パッチ手順 \(39 ページ\)](#)
- [拡張 ISSU \(49 ページ\)](#)
- [Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレード \(53 ページ\)](#)
- [ファームウェアのダウンロード, on page 59](#)
- [vPC のアップグレード プロセス \(63 ページ\)](#)
- [以前のソフトウェア リリースへのダウングレード \(64 ページ\)](#)
- [Cisco NX-OS のアップグレード履歴 \(67 ページ\)](#)

ソフトウェア イメージ

各 Nexus スイッチには、Cisco NX-OS ソフトウェアが事前インストールされています。Cisco NX-OS ソフトウェアは 1 つの NX-OS ソフトウェア イメージで構成されており、このイメージは Cisco NX-OS オペレーティング システムをロードする際に必要です。



- (注) Cisco NX-OS リリース 10.5(3)F 以降、Cisco NX-OS は個別の EPLD イメージを提供しなくなりました。代わりに、EPLD イメージはすべての NX-OS イメージにバンドルされるため、イメージサイズはそれに応じて大きくなります。詳細については、次を参照してください。 [Cisco Nexus 9000 シリーズ FPGA/EPLD アップグレード リリース ノート](#) オン [Cisco.com](#)。

Cisco HCS リリース 10.6(x) は、次を含む 64 ビット イメージのみをサポートします。

- 64 ビットの Cisco NX-OS イメージ ファイル名で **nxos64-cs** がプレフィックスとなっている場合（たとえば、**nxos64-cs.10.5.3.F.bin**）Cisco Nexus 9500 -R および -R2 スイッチとカード、Nexus 9800 スイッチ、および N9364E-SG2 スイッチを除くすべての Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチでサポートされます。
- 64 ビットの Cisco NX-OS イメージ ファイル名で **nxos64-msll** がプレフィックスとなっている場合（たとえば、**nxos64-msll 10.5.3.F.bin**）Cisco Nexus 9500 シリーズ -R および -R2 シリーズ モジュラ スイッチでのみサポートされています。
- 64 ビットの Cisco NX-OS イメージ ファイル名で **nxos64-s1** がプレフィックスとなっている場合（たとえば、**nxos64-s1.10.5.3.F.bin**）Nexus 9800 および N9364E-SG2 スイッチで必須です。このイメージは、Nexus 9800 スイッチの Cisco NX-OS リリース 10.5(1)F および N9364E-SG2 スイッチの 10.5(3)F からサポートされています。

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチは、中断を伴うソフトウェアのアップグレードとダウングレードをデフォルトでサポートしています。

サポートされるアップグレードパスの詳細については、次を参照してください。 [Cisco Nexus 9000 および 3000 アップグレードと ISSU マトリックス](#)。



- (注)
- Cisco NX-OS Release 10.5(2)F まで、シスコは Electronic Programmable Logic Device (EPLD) の独立したイメージアップグレードも提供していました。ハードウェア機能の強化や既知のハードウェア問題の解決を目的としたものです。EPLD イメージとアップグレードプロセスの詳細については、次を参照してください。 [Cisco Nexus 9000 シリーズ FPGA/EPLD アップグレード リリース ノート](#)。
 - バイナリ ファイルのもう 1 つのタイプは、ソフトウェア メンテナンス アップグレード (SMU) パッケージ ファイルです。SMU には、特定の不具合に対する修正プログラムが含まれています。これらは、直近の不具合に対処するために作成されたものであり、新しい機能は含まれていません。SMU パッケージ ファイルは、[Cisco.com](#) からダウンロードできます。通常、解決された不具合の ID 番号がファイル名に含まれています。例えば次のようなものです： **n9000-dk10.1.1.CSCab00001.gbin**。SMU の詳細については、次を参照してください：『[Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS システム管理コンフィギュレーション ガイド](#)』 オン [Cisco.com](#)。

EPLD イメージ

Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS モードスイッチのすべてのモジュールにはハードウェア機能の複数の Programmable Logical Device (PLD) が含まれているので、すべてのモジュールでハードウェア機能を使用できます。シスコは Electronic Programmable Logic Device (EPLD) イメージアップグレードを提供し、ハードウェア機能の強化や既知の問題の解決を行っています。PLD には、Electronic Programmable Logic Device (EPLD)、Field Programmable Gate Array (FPGA)、Complex Programmable Logic Device (CPLD) が含まれますが、ASIC は含まれません。このマニュアルでは、EPLD という用語で FPGA および CPLD も表します。



- (注)
- EPLD の詳細については、次を参照してください：Cisco Nexus 9000 シリーズ FPGA/EPLD アップグレード リリース ノート オン [Cisco.com](https://www.cisco.com)。
 - Cisco NX-OS リリース 10.5(2)F までは、ISSU は **install all nxos<nxos-image>epld<epld-image>** コマンドを使用した、システム (NX-OS) の中断のあるアップグレードをサポートします。
 - 10.5(3)F より前のリリースから 10.5(3)F 以降にアップグレードする場合は、まず 10.5(3) NX-OS にアップグレードする必要があります。 **install all<nxos-image>** コマンドを使用します。NX-OS のアップグレードが完了したら、EPLS をアップグレードできます。 **install epld** コマンドを使用します。
 - Cisco NX-OS リリース 10.5(3)F 以降、EPLD アップグレードは ISSU システムのアップグレード中に行われます。EPLD アップグレードを回避する必要がある場合は、次のオプションを使用してください： **skip-epld** 制限があります。次のオプション **epld<epld-image>** は使用しないでください。EPLD イメージが NXOS イメージにバンドルされており、個別の EPLD イメージが提供されなくなったためです。

ISSU について

in-service software upgrade (ISSU) は、スイッチがトラフィックの転送を続けながら、デバイスのソフトウェアをアップグレードすることができます。ISSU を使用すると、ソフトウェアのアップグレードによるダウンタイムを短縮するかゼロにすることができます。一部のスイッチでは、ISSU (中断のないアップグレードとも呼ばれる) を実行できます。(サポートされているプラットフォームの完全なリストについては、[ISSU プラットフォームのサポート \(21 ページ\)](#) を参照してください)。

デフォルトのソフトウェアアップグレードプロセスは中断を伴います。したがって、ISSU はコマンドラインインターフェース (CLI) を使用して有効にする必要があります。詳細は本書の設定のセクションを参照してください。無停止オプションを使用すると、中断のないアップグレードを確実に実行できます。ゲストシェルは ISSU の実行中は無効になり、アップグレード後に再びアクティブ化されます。

拡張 ISSU では、Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチの一部のサポートを追加しました。

次の ISSU シナリオはサポートされません。

- シングル スーパーバイザ構成のトップオブブラック (ToR) スイッチでの標準 ISSU の実行
- シングル スーパーバイザ構成のトップオブブラック (ToR) スイッチでの拡張 ISSU の実行

シングル スーパーバイザ構成のトップオブブラック (ToR) スイッチでの標準 ISSU の実行

ToR Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチ は、シングル スーパーバイザ構成の NX-OS スイッチです。Cisco Nexus 9000 で ISSU を実行すると、スーパーバイザの CPU がリセットされ、新しいソフトウェア バージョンがロードされます。CPU が Cisco NX-OS ソフトウェアの更新バージョンをロードした後、システムはコントロールプレーンを以前の既知の設定とランタイム状態に復元し、データ プレーンと同期します。これで ISSU プロセスが完了します。

データ プレーン トラフィックは ISSU プロセスの実行中に中断されません。つまり、データ プレーンは、コントロール プレーンのアップグレード中にもパケットを転送するので、Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチではトラフィックの中断は見られません。ISSU プロセス実行中のコントロール プレーンのダウンタイムは、約 120 秒未満です。

シングル スーパーバイザ構成のトップオブブラック (ToR) スイッチでの拡張 ISSU の実行



(注) 拡張 ISSU はサポートされません。システムに次のメッセージが表示されます。

```
Host kernel is not compatible with target image. Full ISSU will be performed and control plane will be impacted.
```

実際に、システムは拡張 ISSU の代わりに、中断のない ISSU を実行します。

Cisco NX-OS ソフトウェアは、通常、ハードウェアで直接実行されます。ただし、シングル スーパーバイザ ToR 上の拡張 ISSU またはコンテナベース ISSU の構成は、スーパーバイザ モジュールおよびラインカードの仮想インスタンスを作成することによって実現されます。拡張 ISSU では、ソフトウェアはスーパーバイザおよびラインカード用の独立した Linux コンテナ (LXC) の内部で実行されます。3 番目のコンテナが ISSU 手順の一部として作成され、これがスタンバイ スーパーバイザとして稼働します。

仮想インスタンス (または Linux コンテナ) は、エミュレーションされたイーサネット接続を使用して相互に通信します。通常の状態では、vSup1 (アクティブなロール内の仮想 SUP コンテナ) と vLC (仮想ラインカードコンテナ) の 2 つの Linux コンテナのみがインスタンス化されます。拡張 ISSU では、スイッチに 16G のメモリが必要です。

拡張 ISSU (LXC) モードでの起動を有効にするには、**[no] boot mode lxc** コマンドを使用します。このコマンドは、コンフィギュレーションモードで実行されます。詳細については、次の設定例を参照してください。

```
switch(config)# boot mode lxc
Using LXC boot mode
Please save the configuration and reload system to switch into the LXC mode.
switch(config)# copy r s
[#####] 100%
```

Copy complete.



(注) 拡張 ISSU を初めて有効にするときには、最初にスイッチをリロードする必要があります。

拡張 ISSU によるソフトウェア アップグレードの実行中は、スーパーバイザ コントロールプレーンは最小限のスイッチオーバーダウンタイム中断を伴って稼働状態を維持し、ネットワークのフォワーディングステートはアップグレード中に正確に維持されます。スーパーバイザが最初にアップグレードされ、次にラインカードがアップグレードされます。

データプレーントラフィックは ISSU プロセスの間に中断されません。コントロールプレーンのダウンタイムは 6 秒未満です。



(注) サービス内ソフトウェア ダウングレード (ISSD、中断のないダウングレード) はサポートされていません。

ISSU および高可用性の詳細については、次を参照してください：『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS High Availability and Redundancy Guide](#)』。

Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレードの推奨事項

Cisco では、アップグレードを実行する前に、Nexus Health and Configuration Check を実行することを推奨します。利点には、潜在的な問題の特定、影響を受けやすいフィールド通知とセキュリティの脆弱性、推奨される設定の欠落などがあります。詳細および手順については、次を参照してください： [Nexus の健全性とコンフィギュレーション チェックの実行](#)。

Cisco NX-OS ソフトウェア アップグレードの前提条件

Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレードには、次の前提条件があります。

- すべてのリリースの ISSU 互換性については、次を参照してください： [Cisco Nexus 9000 and 3000 Upgrade and ISSU Matrix](#)。
- デバイスまたはネットワークにアクセス可能ななどのユーザも、スケジュールされた時間にはデバイスまたはネットワークを設定しないでください。アップグレード中はデバイスを設定できません。 **show configuration session summary** コマンドを使用して、アクティブなコンフィギュレーションセッションがないことを確認してください。
- デバイスで Cisco NX-OS ソフトウェア イメージをアップグレードまたはダウングレードする前に、アクティブなすべてのコンフィギュレーションセッションを保存、送信、または破棄します。デュアルスーパーバイザを搭載したデバイスでは、アクティブなコンフィギュレーションセッションがある場合、Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレード中に

アクティブ スーパーバイザ モジュールをスタンバイ スーパーバイザ モジュールに切り替えられません。

- ファイル転送プロトコル（TFTP、FTP、SFTP、SCP など）を介して NX-OS ソフトウェア イメージを Nexus スイッチに転送するには、NX-OS ソフトウェア イメージが保存するリモート ファイル サーバに Nexus スイッチが接続できることを確認します。サブネット間のルータからルータへのトラフィックがない場合、**ensure that the Nexus** スイッチとリモート ファイル サーバは同じサブネットワークにあることを確認します。リモート サーバへの接続を確認するには、選択したファイル転送プロトコルを使用してテストファイルを送送するか、リモート ファイル サーバが ICMP エコー要求パケットに応答するように設定されている場合は ping コマンドを使用します。次のコマンドの使用例 **ping** リモートファイルサーバ 192.0.2.100 への接続を確認するコマンドを次に示します。

```
switch# ping 192.0.2.100 vrf management
PING 192.0.2.100 (192.0.2.100): 56 data bytes
64 bytes from 192.0.2.100: icmp_seq=0 ttl=239 time=106.647 ms
64 bytes from 192.0.2.100: icmp_seq=1 ttl=239 time=76.807 ms
64 bytes from 192.0.2.100: icmp_seq=2 ttl=239 time=76.593 ms
64 bytes from 192.0.2.100: icmp_seq=3 ttl=239 time=81.679 ms
64 bytes from 192.0.2.100: icmp_seq=4 ttl=239 time=76.5 ms

--- 192.0.2.100 ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 packets received, 0.00% packet loss
round-trip min/avg/max = 76.5/83.645/106.647 ms
```

- スパニングツリー トポロジで無停止 ISSU を実行する場合は、**show spanning-tree issu-impact** コマンドを実行する前に、次の基準を確認してください。
 - No Topology change must be active in any STP instance
 - ブリッジ アシユアランス（BA）はどのポートでもアクティブになっていてはならない（MCT と vPC ピア リンクを除く）
 - 非エッジの指定転送ポートは存在しない（MCT と vPC ピア リンクを除くを除く）
 - vPC ピア スイッチで ISSU 基準を満たす必要がある

アクティビティおよび設定セッションの詳細については、次を参照してください：『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS System Management Configuration Guide』（お使いのリリースに固有のもの）。

Cisco NX-OS ソフトウェア ダウングレードの前提条件

Cisco NX-OS ソフトウェアのダウングレードには、次の前提条件があります。

- コントロールプレーン ポリシング（CoPP）機能をサポートしている Cisco NX-OS リリースから CoPP 機能をサポートしていない以前の Cisco NX-OS リリースへのダウングレードを実行する前に、次のコマンドで互換性を確認する必要があります。**show incompatibility nxos bootflash:filename** コマンドを使用して互換性を確認しておく必要があります。非互換

な部分が存在する場合は、ソフトウェアをダウングレードする前に、ダウングレードイメージと互換性がない機能をすべて無効化してください。

Cisco NX-OS ソフトウェア アップグレードの注意事項

ソフトウェア イメージのアップグレードを試行する前に、次の注意事項に従ってください。

- Cisco Nexus リリース 10.1(2)、10.2(1)F、10.2(2)F、で実行されているデバイスでは、ND-ISSU は、L2 サブインターフェイスが設定されている場合はサポートされません。
- Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F 以降、Cisco Nexus 9504 および 9508 プラットフォーム スイッチ、および Cisco Nexus 9508-R、R2、および RX ラインカードは、Cisco NX-OS 64 ビット イメージをサポートします。以前のリリースから 10.2(2)F 64 ビット NX-OS イメージへの中断を伴うアップグレードがサポートされています。Cisco NX-OS 32 ビット イメージは、これらのプラットフォーム スイッチではサポートされなくなりました。
- Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F 以降、FCoE/FC NPV は N9K-C9336C-FX2-E プラットフォーム スイッチでサポートされています。

FCoE（ファイバチャネルオーバーイーサネット）/FC（ファイバチャネル）NPV（Nポート仮想化）を使用したISSUは、一部の Cisco Nexus 9000 スイッチでサポートされています。ISSU は、スイッチがトラフィックの転送を続けながら、デバイスのソフトウェアをアップグレードすることができます。一部の Cisco Nexus 9000 スイッチでは、In-Service Software Upgrade（ISSU、無停止アップグレード）を実行できます。デフォルトのソフトウェア アップグレード プロセスは中断を伴います。無停止オプションを使用すると、無停止アップグレードを確実に実行できます。

ファイバチャネル N ポート仮想化（NPV）は、異なるファブリック アップリンク上の VXLAN と共存できますが、Cisco Nexus 93180YC-FX、N9K-C9336C-FX2-E、および N9k-C93360YC-FX2 スイッチの同じまたは異なる前面パネル ポート上にあります。

- Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F 以降では、ND ISSU は FEX でサポートされており、アップグレードを中断せずに機能させるには、**BGP graceful-restart restart time** コマンドを再調整する必要があります。これは、FEX アップグレードごとに1つずつ実行する必要があります。

次の例は、中断のない FEX アップグレードごとに **bgp-graceful restart-time** を再調整するのにかかる時間を示しています。

In the Non-disruptive upgrade with FEX, each FEX will upgrade taking about 90 secondss

(1.5 minutess) sequentially (one-by-one and not a parallel upgrade).

Total non-disruptive upgrade time for all FEX = No. of fex * time taken per fex

For 10 FEX = 10 * 90

= 900 seconds or 15 minutes

- 以前のリリースから Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F に対して ND ISSU を実行する場合、MPLS ストリップ、GRE ストリップ、および基礎となる ACL 構成は ISSU 互換ではありません。

Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F または 10.2(3)F へ以前のリリースから ND ISSU した後に、ポスト GRE ストリップ dot1q トンネル VLAN_tag が欠落する可能性があります。この問題を回避するには、GRE ストリップ対応インターフェイスの L2 インターフェイスからポート ACL を削除して追加します。

- すべてのリリースの ISSU 互換性については、[Cisco Nexus 9000 and 3000 Upgrade and ISSU Matrix](#) を参照してください。
- Cisco NX-OS リリース 10.2(8)M 以降、Cisco Nexus 9300-FX3 は無停止アップグレードをサポートしています。
- Cisco NX-OS リリース 10.1(1) 以降で、64 ビット イメージへの中断を伴うアップグレードまたは 64 ビット イメージから 32 ビット イメージへのダウングレード中に、機能 ITD が有効になっている場合、次を参照してください：ITD の注意事項と制約事項 次の例のように Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS *Intelligent Traffic Director* 構成ガイド、リリース 10.1(x)（ASIC でアップグレードまたはダウングレードを続行する場合）。リロードされます。
- Cisco NX-OS リリース 10.1(x) 以降、既存の SMU がアクティブな場合に既存のアクティブな SMU を含むバンドルをインストールすると、インストーラは存在しない SMU のみをインストールします。
- 次の **install all** が **no-reload** with オプションを使用する場合、保存した設定はデバイスをリロードするまで使用できません。この状態で設定を保存すると、NX-OS の新しいバージョンでデバイスをリロードすると、スタートアップコンフィギュレーションが不正になる可能性があります。
- LXC ブートモードのスイッチの場合、次の手順を実行します。拡張 LXC アップグレードは、ターゲット イメージ カーネルが現在のイメージと異なる可能性が高いため、標準の ND ISSU にフォールバックします。
- 10.2(2)F より前の NX-OS リリースから 10.2(2)F 以降のリリースにアップグレードする場合は、**mode tap-aggregation** コマンドを、レイヤ 2 インターフェイスで TagAgg ACL をアタッチする前に、使用します。
- Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F 以降、LXC モードで非破壊的アップグレードのスイッチの場合、コマンドに新しいオプション **skip-kernel-upgrade** が追加されました **install** コマンドを使用します。
- 以下は、LXC モードで ND ISSU を実行できる 2 つの方法です。
 - LXC モードの ND ISSU - EOR に類似したスイッチオーバー ベースの ISSU。2 番目の SUP が新しいコンテナで起動され、切り替えが行われます。2 番目の SUP が新たにアクティブになります。カーネルに変更はありません。
 - フォールバック ND LXC ISSU：これは、上記のスイッチオーバー ベースの ISSU を実行できない場合にのみ実行されます（SRG カーネルに互換性がないか、メモリが少ない）。カーネルがアップグレードされます。

- `skip-kernel-upgrade` オプションは、LXC モードで ND ISSU を強制する：スイッチオーバー ベースの ISSU（実行中の場合でも）とターゲット カーネルに互換性はありません。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(3) から Cisco NX-OS リリース 9.3(6) にアップグレードするとき、Cisco NX-OS リリース 9.3(3) から TRM 対応 VRF の設定を保持しない場合や、アップグレード後に新しい VRF を作成する場合、**ip multicast multipath s-g-hash next-hop-based** 機能が **ngmvpn** が有効になっていると CLI の自動生成は発生しません。TRM 対応 VRF ごとに CLI を手動で有効にする必要があります。設定手順については、次を参照してください：Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS VXLAN 構成ガイド、リリース 10.1 (x)。
- Cisco Nexus 9000 デバイスを Cisco NX-OS リリース 10.1(x) にアップグレードするときに、QSFP ポートが手動ブレイクアウト コマンドで設定され、QSA を使用している場合、インターフェイス イーサネット 1/50/1 の設定はサポートされず、削除する必要があります。設定を復元するには、デバイスのインターフェイス イーサネット 1/50 を手動で設定する必要があります。
- 静的ルートを再配布する場合、Cisco NX-OS では **default-information originate** コマンドが、スタティック ルートを再配布する場合、デフォルトの 7.0(3)I7(6) スタティック ルートを正常に再配布するために必要です。
- Cisco NX-OS リリース 9.2 (4) 以前のリリースから Cisco NX-OS リリース 9.3 (4) 以降にアップグレードする場合、実行コンフィギュレーションに追加の TCAM 設定行が含まれます。これらの余分な行はアップグレードおよび設定に影響しないため、無視できます。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(1) または 9.3(2) から Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降に ISSU を実行する場合は、ユーザー定義のポート（`<ssh port>` など）が、所定のポート範囲内にあることを確認してください。ポート範囲が正しくない場合は、syslog メッセージの推奨事項に従ってください。詳細については、『Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS IP SLA 設定ガイド、リリース 10.1(x)』を参照してください。
- Cisco NX-OS リリース 9.2(2) 以前のリリースから Cisco NX-OS リリース 10.1(x) にアップグレードする場合は、入力 RACL TCAM リージョンが 50% 以上使用されていないことを確認する必要があります。そうでない場合、アトミック更新機能はアップグレード後に有効になり、TCAM 割り当てが 50% を超える RACL を持つインターフェイスはダウンしたままになります。
- Cisco NX-OS リリース 10.1(1) 以降、ISSU は Cisco Nexus 93360YC-FX2 の FC/FCoE スイッチ モードでサポートされます。FC/FCoE スイッチ モードとサポートされるハードウェアの詳細については、Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS SAN 切り替え設定ガイド、リリース 10.1(x) を参照してください。
- Cisco NX-OS リリース 10.1 (1) 以降では、Cisco Nexus 93180YC-FX および 93360YC-FX2 スイッチの FC / FCoE スイッチモードで Enhanced ISSU がサポートされています。FC/FCoE スイッチモードおよびサポートされるハードウェアの詳細については、次を参照してください：Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS ラベル スイッチング構成ガイド リリース 10.1(x)。
- Cisco NX-OS リリース 10.1 (1) 以降では、Cisco Nexus 93180YC-FX および 93360YC-FX2 スイッチの FC / FCoE NPV モードで Enhanced ISSU がサポートされています。FC/FCoE NPV

モードおよびサポートされるハードウェアの詳細については、次を参照してください：
Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS FCoE NPV および FCoE NPV 構成ガイド、リリース 10.1(x)。

- 次の制限は、7.0(3)I5 から 10.1(x) または 9.2(3) から 10.1(x) へのソフトウェアアップグレードに適用されます。

VLAN と SVI の両方で同じ NetFlow 設定を使用している場合は、アップグレード前に VLAN 設定から NetFlow フロー モニタを削除する必要があります。アップグレードしたら、新しいフロー モニタを作成し、VLAN 設定に追加して、NetFlow を再設定します。これらの手順を実行しないと、エラーメッセージが表示され、アップグレードされたソフトウェアの VLAN NetFlow 設定を変更できなくなります。

- Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I4(8)、7.0(3)I5(3)、および 7.0(3)I6(1) から Cisco NX-OS リリース 10.1(x) にアップグレードすると、中断を伴うアップグレードが発生します。Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I4(8)、7.0(3)I5(3) または 7.0(3)I6(1) から 10.1(x) への中断を伴うアップグレード中に、スタンバイ SUP への画像の同期が失敗した場合、手動で画像をスタンバイ SUP にコピーし、中断を伴うアップグレードを実行する必要があります。
 - 7.0 (x) より前のリリースから Cisco NX-OS リリース 10.1 (x) に直接アップグレードすると、アップグレードが中断されます。中断のないアップグレードでは、Cisco NX-OS リリース 9.x への中間アップグレードが必要です。アップグレードの中間ホップとして、Cisco NX-OS Release 9.3 (x) の最新リリースにアップグレードすることを推奨します。サポートされるアップグレードパスの詳細については、次を参照してください。 [Cisco Nexus 9000 and 3000 Upgrade and ISSU Matrix](#)。
 - Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I6(1) または 7.0(3)I7(1) から Cisco NX-OS リリース 10.1(x) にアップグレードするとき (Cisco Nexus 9000 シリーズスイッチが vPC を実行していて、レイヤ 2 vPC を介した IOS ベースのスイッチに接続されている場合)、IOS 側のレイヤ 2 ポート チャンネルがエラー無効になる可能性があります。回避策は、IOS スイッチで spanning-tree etherchannel guard misconfig コマンドを無効にしてから、アップグレードプロセスを開始することです。
- 両方の Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチをアップグレードしたら、コマンドを再度有効にできます。
- Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I5(2) から Cisco NX-OS リリース 10.1(x) にアップグレードする際 **install all** コマンドを実行した場合、CSCve24965 により BIOS はアップグレードされません。Cisco NX-OS リリース 10.1(x) へのアップグレードが完了したら、**install all** コマンドを再度実行して、BIOS のアップグレードを完了します (該当する場合)。
 - アップグレードが **install all** コマンドを使用して、Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I2(2b) からリリース 10.1(x) へ行われた場合、VLAN を既存の FEX HIF トランク ポートに追加することができなくなります。これから回復するには、すべての FEX がオンラインになり、HIF が動作するようになった後、次の手順を実行する必要があります。
 1. プロンプトで `copy run bootflash:fex_config_restore.cfg` コマンドを入力します。
 2. プロンプトで `copy bootflash:fex_config_restore.cfg running-config echo-commands` コマンドを入力します。

- Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I6(1) および以前、ASCII リプレイの実行、または FEX HIF 設定で `copy file run` コマンドを実行するには、FEX の復帰後に手動で FEX の設定を再適用する必要があります。
- 7.0(3)I2(x) 以前から Cisco NX-OS リリース 10.1(x) にアップグレードし、EVPN VXLAN 設定を実行している場合は、7.0(3)I4(x) または 7.0(3)I5(x) または 7.0(3)I6(x) への中間アップグレードが必要です。
- インターフェイスで FHS を有効にする前に、Cisco Nexus 9300 および 9500 プラットフォーム スイッチで `ifacl` TCAM リージョンをカービングすることを推奨します。以前のリリースで `ifacl` TCAM リージョンを作成した場合は、Cisco NX-OS リリース 10.1 (x) にアップグレードした後にシステムをリロードする必要があります。システムをアップロードすると、FHS TCAM リージョン `ifacl` に必要な一致修飾子が作成されます。
- FHS を有効にする前に、Cisco Nexus 9200 および 9300-EX プラットフォーム スイッチで `ing-redirect` TCAM リージョンをカービングすることを推奨します。以前のリリースで `ing-redirect` TCAM リージョンを切り分けた場合は、Cisco NX-OS リリース 10.1(x) にアップグレードした後にシステムをリロードする必要があります。システムをアップロードすると、FHS TCAM リージョンである `ing-redirect` に必要な一致修飾子が作成されます。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(1)、9.3(2) または 9.3(3) から、Embedded Event Manager (EEM) 設定が実行設定に保存されている上位リリースにアップグレードすると、DME エラーが表示されることがあります。エラーは、**`show consistency-checker dme running-config enhanced`** コマンド、特にイベント マネージャ コマンドの出力にあります。このエラーが発生した場合は、ISSU の完了後にすべての EEM アプレット設定を削除してから、EEM 設定を再適用します。
- ISSU を使用して Cisco NX-OS リリース 9.3(5) にアップグレードする以前のリリース バージョンでは、次のロギングレベルコマンドが設定されている場合、それらはアップグレードされたバージョンにないため、再設定する必要があります。
 - **`logging level evmc value`**
 - **`logging level mvsh value`**
 - **`logging level fs-daemon value`**
- ISSU を使用して Cisco NX-OS リリース 9.3 (6) にアップグレードする以前のリリース バージョンでは、次のロギングレベルコマンドが構成されている場合、それらはアップグレードされたバージョンにないため、再構成する必要があります。
 - **`logging level evmc value`**
 - **`logging level mvsh value`**
- `copy running-config save-config` および `reload` コマンドを入力せずに予約済み VLAN を変更した場合、ISSU を実行しようとするエラーが発生します。
- `install all` コマンドは、構成の互換性チェックと BIOS のアップグレードを自動的に実行するため、ソフトウェアアップグレードに推奨される方法です。一方、ブート変数を変更し

てデバイスをリロードすると、これらのチェックと BIOS アップグレードがバイパスされるため、これは推奨されません。

- ISSU は Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I4(1) からそれ以降の画像へのみ実行できます。

- ISSU の実行中、VRRP および VRRPv3 は次のメッセージを表示します。

- VRRPv3 が有効の場合：

```
2015 Dec 29 20:41:44 MDP-N9K-6 %$ VDC-1 %$ %USER-0-SYSTEM_MSG: ISSU ERROR: Service
"vrrpv3" has sent the following message: Feature vrrpv3 is configured. User can
change
vrrpv3 timers to 120 seconds or fine tune these timers based on upgrade time on
all Vrrp
Peers to avoid Vrrp State transitions. - sysmgr
```

- VRRP が有効な場合：

```
2015 Dec 29 20:45:10 MDP-N9K-6 %$ VDC-1 %$ %USER-0-SYSTEM_MSG: ISSU ERROR: Service
"vrrp-
eng" has sent the following message: Feature vrrp is configured. User can change
vrrp
timers to 120 seconds or fine tune these timers based on upgrade time on all
Vrrp Peers to
avoid Vrrp State transitions. - sysmgr
```

- ゲスト シェルは、ISSU 実行中に無効化され、アップグレード後に再度アクティブ化されます。ゲスト シェルで実行されているすべてのアプリケーションが影響を受けます。
- アップグレードは、ネットワークが安定しているときにスケジュールします。
- ソフトウェアイメージの破損につながるため、インストール手順の実行中の電源中断は回避してください。
- デュアル スーパーバイザ モジュールのあるデバイスでは、ソフトウェアのアップグレード中に切り替えが発生した場合に接続を維持するため、両方のスーパーバイザモジュールがコンソール ポートで接続されている必要があります。詳細については、[ハードウェア 設置ガイド](#)（使用しているシャーシのもの）を参照してください。
- スタンバイ スーパーバイザ モジュールではなく、アクティブ スーパーバイザ モジュールでインストールを実行します。
- 値は、**install all** コマンドは、構成の互換性チェックと BIOS のアップグレードを自動的に実行するため、ソフトウェアアップグレードに推奨される方法です。一方、ブート変数を変更してデバイスをリロードすると、これらのチェックと BIOS アップグレードがバイパスされるため、これは推奨されません。



- (注) -R ライン カードを装備した Cisco Nexus 9500 プラットフォーム スイッチでは、設定を保存してデバイスをリロードし、Cisco NX-OS リリース 7.0(3)F3(5) から 9.3(1) にアップグレードする必要があります。Cisco NX-OS リリース 9.2(2) または 9.2(3) にアップグレードするには、次のコマンドを使用することを推奨します：**install all** コマンドを使用します。

- ソフトウェアイメージの MD5、SHA256、または SHA512 チェックサムを確認することにより、アップグレードを実行する前に、不完全または破損した NX-OS ソフトウェア イメージを検出できます。ソフトウェア イメージの MD5 チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>md5sum** コマンドを実行し、結果の値をソフトウェア イメージの公開された MD5 チェックサムと比較します。[Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトにあるものです。Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。ソフトウェア イメージの SHA512 チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>sha512sum** コマンドを実行し、結果の値を次のソフトウェア イメージの公開済み SHA512 チェックサムと比較します：[Cisco Software のダウンロード](#)。Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。
- Cisco Nexus 94xx、95xx、96xx ラインカードから Cisco Nexus 9732C-EX ラインカードおよびそのファブリックモジュールにアップグレードする場合は、ラインカードとファブリックモジュールを挿入する前に Cisco NX-OS ソフトウェアをアップグレードします。そうしないと、ラインカードで診断エラーが発生し、TCAM スペースが割り当てられなくなる可能性があります。次の **write_erase** コマンドの後に **reload** コマンドを使用します。
- CoPP 機能をサポートする Cisco NX-OS リリースから、新しいプロトコルの追加クラスを含む CoPP 機能をサポートする Cisco NX-OS リリースにアップグレードする場合は、次のコマンドを使用します：**setup** コマンドまたは **copp profile** コマンドを使用してセットアップユーティリティを実行し、新しい CoPP クラスを使用可能にする必要があります。これらのコマンドの詳細については、次に掲載されている、「コントロールプレーンポリシング」の章を参照してください：[Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS セキュリティ コンフィギュレーションガイド リリース 10.1\(x\)](#)。
- POAP の安全性を確保するために、DHCP スヌーピングが有効であることを確認し、ファイアウォールルールを設定して意図しない、または悪意のある DHCP サーバをブロックしてください。POAP の詳細については、次を参照してください。[Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS 基本構成ガイド、リリース 10.1\(x\)](#)。
- 旧リリースからスイッチ プロファイルをサポートする Cisco NX-OS リリースにアップグレードする場合、実行構成コマンドの一部をスイッチプロファイルに移動することができます。詳細については、次の資料を参照してください。[Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS システム管理設定ガイド、リリース 10.1\(x\)](#)。
- デフォルトでは、ソフトウェア アップグレードプロセスは中断されます。
- OpenFlow および LACP 高速タイマー レート構成は、無停止 ISSU ではサポートされません。
- ゲスト シェルは、ISSU 実行中に無効化され、アップグレード後に再度アクティブ化されます。
- BGP のデフォルト以外のホールドタイマーを使用して ND ISSU を実行する場合は、BGP グレースフルリスタートタイマーが十分な長さ（180 秒など）であることを確認します。
- Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチの ISSU の間、ISSU の対象のノードがアクティブであると、すべてのファーストホップ冗長プロトコル（FHRP）は他のピアをアクティブにします。

- VPC の両方のピアが同じモード（通常モードまたは拡張モード）であることを確認してから、無停止アップグレードを実行してください。



(注) 拡張 ISSU モード（ブートモード `lxc`）が設定されたスイッチと非拡張 ISSU モードスイッチ間の vPC ピアリングはサポートされていません。

- ISSU では、最初の vPC デバイス上のソフトウェアリロードプロセスで、vPC 通信チャンネルを介した CFS メッセージングを使用して、その vPC ピア デバイスをロックします。1 度に 1 つのデバイスだけアップグレードできます。最初のデバイスは、そのアップグレードが完了したら、そのピアデバイスのロックを解除します。次に、2 つ目のデバイスが、最初のデバイスが行ったのと同じように最初のデバイスをロックして、アップグレードプロセスを実行します。アップグレード中は、2 つの vPC デバイスが一時的に異なるリリースの Cisco NX-OS を実行することになりますが、その下位互換性サポートにより、システムは正常に機能します。
- OnePK が有効である場合、ISSU はサポートされません。You can run the **show feature | include onep** コマンドを実行してこの機能が無効化されていることを確認してから、ISSU または拡張 ISSU を実行できます。
- 通常、ISSU では次のアップグレードがサポートされています。
 - メジャー リリースから関連するすべてのメンテナンス リリースへ
 - 最後の 2 つのメンテナンス リリースから次の 2 つのメジャー リリースへ
 - 以前のメンテナンス リリースから次の 2 つのメジャー リリースへ



(注) 中断のあるアップグレードまたは中断のない ISSU の実行が可能
な特定のアップグレード元リリースのリストについては、お使い
の特定のリリースに対応する、次のリリースノートを参照してく
ださい。『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Release Notes](#)』（お使
いの特定のリリース用）。

- まれに、スイッチが正常に稼働しているときに、次の デバイスが見つかりません ログが
コンソールに表示されることがあります。この問題は、スイッチが古い ASIC バージョン
を見つけようとして、さらに PCI プローブ障害のエラーメッセージがコードで有効になっ
ているために発生します。この問題により機能への影響やトラフィックの損失は生じませ
ん。
- Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I3(1) 以降で EPLD が存在しない場合は、ISSU はサポートされ
ません。
- ISSU は、中断を伴うシステム（NX-OS）アップグレード中の **install all nxos <nxos-image>
epld <epld-image>** コマンドを使用した、EPLD イメージアップグレードをサポートしてい

ます。Cisco NX-OS Release 10.5(3)F 以降では、**epld** <epld_image> オプションを使用しないでください。EPLD イメージが NXOS イメージにバンドルされており、個別の EPLD イメージが提供されなくなったためです。

- Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降では、標準的な、中断のない ISSU が、**uRPF** が設定されたスイッチでサポートされています。以下のスイッチが対象です：
 - Cisco Nexus 9300-EX プラットフォーム スイッチ
 - Cisco Nexus 9300-FX/FX2 プラットフォーム スイッチ
 - Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチ



(注) Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以前では、上記のスイッチのいずれかが uRPF で設定されている場合、標準、中断のない ISSU はサポートされていませんでした。

- 次の場合、ISSU はブロックされます：**boot poap enable** が設定されます。
- ストレートモードで FEX が接続された NX-OS リリース 7.x から Nexus 9000 スイッチを 9.x から 10.x にアップグレードすると、10.x リリースへアップグレード後に FEX レイヤ 2 ホストインターフェイス (HIF) 構成が失われる可能性があります。これは、リリース 9.x から 10.x へのブート時にレイヤ 2 FEX HIF ポートを処理する設計の変更が原因で発生します。



(注) この問題は、ストレート スルー モードで接続された FEX でのみ発生し、デュアルホーム接続 (A-A) モードでは発生しません。

これを解決するには、スイッチを 9.x から 10.x にアップグレードする前に、次の非侵入型コマンドを実行します：

1. 適用 **no switchport** は、すべてのレイヤ 3 (L3) 物理およびレイヤ 3 (L3) ポートチャネル インターフェイスにのみ適用してください。次に例を示します。

```
switch(config)# interface e1/1
switch(config-if)# no switchport
```

2. 設定 **system default switchport** をグローバルに構成して、構成を保存します。次に例を示します。

```
switch(config)# system default switchport
switch(config)# copy r s
```



(注) 次の場合、この問題は発生しません。

- スイッチは最初に FEX が接続された 9.x で起動されてから 10.x にアップグレードされた。
- スイッチが接続 FEX なしで 7.x から 9.x にアップグレードされ、10.x にアップグレードする前に 9.x の後半で FEX が追加された。

- Cisco NX-OS リリース 10.1(1)以降、**Fs_daemon** は次をサポートしていません：**snmpwalk** (5,000 を超えるファイルを持つデバイス)。5,000 を超えるファイルがあるデバイスで **snmpwalk** を実行すると、エラー **resourceUnavailable** (これはエージェント内のメモリ不足障害である可能性があります) が出ますが、これは想定される動作です。
- Cisco NX-OS リリース 10.1 (2) 以降、CoPP は N9K-X9624D-R2 および N9K-C9508-FM-R2 プラットフォーム スイッチでサポートされ。
- Cisco NX-OS リリース 10.1(2) 以降、RACL は N9K-X9624D-R2 および N9K-C9508-FM-R2 プラットフォーム スイッチでサポートされ。
- Cisco NX-OS リリース 9.3 (5)、9.3 (6)、9.3 (7)、10.1 (1)、または 10.1 (2) から Cisco NX-OS リリース 10.2 (1) 以降のリリースへの ISSU の実行中ブロックされます。
- 遅延設定がトラックリストのブール/重みに存在する場合、ISSU はブロックされます。
- ISSU 中に IPv6 ND がタイムアウトすると、ISSU の後に IPv6 BFD セッションがフラップする可能性があります。
- Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F 以降、すべての Cisco Nexus 9300-X TOR の VPC ファブリック ピアリングで非中断 ISSU がサポートされます。標準と拡張の両方の無停止アップグレードがサポートされています。障害が発生していないときに ISSU を開始またはトリガーする必要があることに注意してください。障害の例としては、VPC レッグの 1 つがダウンしていることが挙げられます。
- 推奨されるルーティングプロトコルのグレースフルリスタート タイマーは 600 秒で、nve 送信元インターフェイスのホールドダウン時間は 400 秒です。
- スイッチ モードテストベッドで ND ネイティブ ISSU を呼び出す場合は、E または F モードの VFC インターフェイスで次のように設定することを **disable-fka** お勧めします。そうでない場合、中断が発生する可能性があります。
- VRF スケールがある場合、各 VRF の非中断型 ISSU では、グレースフルリスタート タイマーを 300 秒に構成する必要があります。
- 任意のリリースから nxos64-cs.10.3(1)F 以降のリリースにアップグレードする必要があるプラットフォームの場合、nxos.9.3.10.bin または nxos64-cs.10.2(3)F 以降のリリースを暫定ホップとして使用します。この制限は、中断および非中断アップグレードの両方で適用されます。nxos64-msll.10.3(1)F にはこの制限がありません。

- サポートされていないイメージを Cisco Nexus 9800 プラットフォーム スイッチにロードすると、スイッチがスタックします。その場合、リセットできるのは電源の再投入のみです。
- 9.3(10) または 10.2(3)F より前のバージョンからの中断を伴うアップグレードは、[CSCwb63451](#)が原因で失敗する場合があります。。10.3(1)F 以降にアップグレードする前に、まず 9.3(10) または 10.2(3)F にアップグレードする必要があります。
- Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F 以降、2xSFP Eth10/1-2 は N9K-C9400-SW-GX2A ではサポートされません。ただし、Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、N9K-C9400-SW-GX2A Sup カード ポート 2xSFP Eth10/1-2 がサポートされます。
- vPC コンプレックスまたは LAN シナリオの L2 スイッチで ISSU を実行している間、L2 スイッチはコントロールプレーンのダウンタイム中にレポート/クエリを転送できないため、IGMP グループ タイムアウトをより高い値で構成する必要があります。L2 スヌーピング クエリア間隔も、L3 クエリア間隔と一致する必要があります。
- 以前のリリースから Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降にアップグレードする場合、**hardware rate-limiter span-egress** コマンドが設定されていると、アップグレード/ISSU の完了後に削除して再適用する必要があります。
- ASIC SFP+ ポート Eth10/1-2 は、Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F、10.3(3)F、および 10.4(1)F ではサポートされていません。Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、これらのポートがサポートされています。ただし、システムのリロード後、これらの ASIC SFP+ Eth10/1-2 ポートがリンクアップするまでに最大 3 分かかる場合があることに注意してください。
- Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降、Cisco Nexus 9300-FX3 および 9300-GX スイッチでは LXC モードのみがサポートされます。これにより、最小限のダウンタイムで拡張された無停止 ISSU を実行できます。
- 上位リリースへのマルチホップ ND ISSU アップグレードを実行する場合は、10.3(5)M 以降のリリースを中間ホップとして使用します。
 - スイッチが以前にマルチホップ ND ISSU を使用してアップグレードされており、予期しない CoPP ドロップが発生した場合は、TAC ケースを開いて修復が必要かどうかを判断してください。
- Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、Cisco Nexus 9300-FX3 および 9300-GX スイッチに加えて、Cisco Nexus 9300-FX および 9300-FX2 スイッチでは LXC モードのみがサポートされます。これにより、最小限のダウンタイムで拡張された無停止 ISSU を実行できます。ただし、残りの Cisco Nexus 9000 スイッチでは、最小限のダウンタイムで拡張 LXC モードで無停止 ISSU を実行するオプションがあります。
- Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、Cisco Nexus N9K-C9332D-H2R、N9K-C9348GC-FX3、および N9K-C9348GC-FX3PH スイッチでは、デフォルトで拡張 LXC モードのみがサポートされます。
- Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降、SR ISSU はアンダーレイ ISIS ではサポートされません。

- Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、BGP をアンダーレイとして使用するセグメントルーティングトラフィックエンジニアリング (SR-TE) 機能で無停止 ISSU がサポートされています。Cisco Nexus 9300 および 92348GC-X プラットフォームスイッチが、および Cisco NX-OS リリース 10.4(3)F 以降の 9300-HX プラットフォームスイッチ上が対象です。ただし、次の機能は中断を伴わない ISSU ではサポートされていません。

- SR L2EVPN
- ISIS および OSPF アンダーレイ
- セグメントルーティングを使用した vPC 設定
- 出力ピア エンジニアリング
- セグメント ルーティングおよび GRE の共存

- Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降、Nexus 9300-R プラットフォームの場合、BIOS を最新バージョンにアップグレードするには、最初に nxos イメージにアップグレードする必要があります。このリリース以降、install all nxos コマンドは nxos sw を最新バージョンにアップグレードするだけですが、BIOS イメージは 10.4 (2) F バージョンより前にリリースされた最後の BIOS にアップグレードされます。

10.4 (2) F 以降のバージョンでリリースされた BIOS にアップグレードするには、最初に nxos イメージをアップグレードしてから、bios-force オプションを使用して BIOS をアップグレードします。次の例を参考にしてください。

1. nxos bootflash:nxos64-msll.10.4.2.F.bin でインストールを実行します。
システムがリロードされ、10.4 (2) F イメージで起動します。
2. all nxos bios-force でインストールを実行します。



(注) スイッチは 2 回リロードします。1 回目は nxos のアップグレードのため、もう 1 回目は BIOS のアップグレードのためです。

- Cisco NX-OS リリース 10.4(3)F 以降、Cisco Nexus 92348GC-X では、非中断 ISSU はサポートされていません。
- NDISSU の実行中、ルータに BGP プレフィックスピアが設定されている場合、プレフィックスピアが ISSU 後に接続を再開できるように、prefix-peer-timeout (デフォルト値 : 30 秒) を GR タイマー (デフォルト値 : 120 秒) よりも大きくする必要があります。
- Cisco NX-OS リリース 10.5(1)F 以降、s1 イメージは Cisco Nexus 9800 スイッチ専用に導入されています。

Cisco NX-OS リリース 10.5(1)F 以降では、Nexus 9800 スイッチでの、cs イメージフォーマットから s1 イメージフォーマットへのアップグレードがサポートされています。

- Cisco Nexus 9300-H2R および C93400LD-H1 スイッチで PTP 機能が構成されている場合、バージョン 10.4(1)F から 10.5(2)F への ND ISSU アップグレードを実行すると、カーネル

がトリガーされ、追加のスイッチのリロードが発生し、影響を停止します。詳細については、次を参照してください。 [CSCwh34732](#)。

- Cisco NX-OS リリース 10.5(3)F 以降、すべての NX-OS 画像は EPLD 画像にバンドルされており、EPLD アップグレードは次のコマンドの一部として自動的にトリガーされます：**install all nxos** コマンドを使用します。ただし、EPLD イメージのアップグレードをスキップするオプションがあります。
- 以前のリリースから 10.5(3)F 以降のリリースにアップグレードする場合、sFlow ISSU 整合性チェッカーの一部として、事前設定ファイルと設定後ファイルがブートフラッシュに作成されます。スナップショット ファイルを削除するには、次のコマンドを使用します：**clear system internal sflow consistency pss-snapshot** コマンドを使用します。ただし、スナップショットファイルが削除されている場合、**show system internal sflow consistency issu-pss** コマンドで予期される出力が提供されません。詳細については、次を参照してください。[『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS System Management Configuration Guide』](#)。
- アップグレード中、デバイスのリロード中に、バイナリを復元せずに ASCII 再生がトリガーされると、プライマリ キーが失われます。プライマリ キーは、デバイスのリロード後に再構成する必要があります。**key config-key ascii** コマンドを使用して、プライマリ キーを再設定し、暗号化の問題を回避します。ただし、バイナリ復元を使用したアップグレードでは、再起動後にプライマリ キーが保持されます。
- Cisco NX-OS リリース 10.6(1)F 以降、Cisco Nexus モジュラ スイッチでバックプレーン診断テストが失敗し、BACKPLANE_AUTHENTICATION_FAIL syslog が表示される場合は、アップグレードまたはシステム リロードを実行しないでください。
- Nexus 9300-FX2 スイッチをCisco NX-OSリリース 10.5(3)F から任意の後続のリリースにアップグレードする場合、中断を伴うアップグレードのみがサポートされ、システムがルーティングテンプレートセキュリティグループで有効になっている場合、ND ISSUはサポートされません。ただし、ND ISSUは、Cisco NX-OSリリース 10.6(1)F からサポートされています。。
- Cisco NX-OSリリース 10.5(3)F 以降で（次のコマンドを使用した nx-os のインストール時）**install all nx-os** コマンドをセキュアブートの脆弱性の影響を受けるスイッチで入力した場合、EPLD アップグレードは行われません。FPGA をアップグレードするには、**install epld** コマンドを使用します。セキュアブートの脆弱性の影響を受けるスイッチの詳細については、次を参照してください。表 1 次の例のように [セキュアブートの脆弱性に対処するための FPGA/EPLD アップグレード手順](#) のドキュメントを参照してください。
- 中断を伴わない ISSU は、N9K-C93108TC-FX3P プラットフォームの 2.5G または 5G 速度のインターフェイスではサポートされません。詳細については、次を参照してください。[CSCwd38959](#)。
- NX-OS リリース 10.3(x) から 10.5(x) 以降のリリースへの中断を伴うアップグレード後、Nexus 9300-FX スイッチの FC ポート構成は失われ、FC ポートはイーサネットポートになります。ただし、port x - y モード fc が実行コンフィギュレーションのスロット z に存在する場合、そのようなポートはイーサネットポートに変更されますが、スイッチのリロード後に FC ポートに戻ります。

- Cisco NX-OSリリース 10.6(1)F 以降（次を使用した nx-os のインストール時） **install all nx-os** コマンドをセキュア ブートの脆弱性の影響を受けるスイッチで使用しているときに、デバイスの IO FPGA バージョンが修正済み IO FPGA バージョンよりも古い場合、EPLD アップグレードは発生しません。FPGA をアップグレードするには、**install epld** コマンドを使用します。セキュアブートの脆弱性と修正済み IO FPGA バージョンの影響を受けるスイッチの詳細については、次を参照してください。表 1 次の例のように [セキュアブートの脆弱性に対処するための FPGA/EPLD アップグレード手順](#)に記載されています。 のドキュメントを参照してください。
- Cisco NX-OSリリース 10.4(6)M から 10.6(1)F 以降のリリースへの中断のない ISSU の実行中は、Cisco Nexus 9300-FX スイッチおよびラインカードでは、IGMP トラフィックが vPC ペアに向けて vPC レッグで転送されます。ISSU を実行中の vPC ピアに複数の FEX デバイスがある場合、FEX デバイスのアップグレード中にマルチキャスト トラフィック損失が発生する可能性があります。これを解決するには、**ip igmp group-timeout 450** コマンドを vPC ピア リンクで IGMP トラフィックを伝送するすべての VLAN で構成します。

TRM アップグレードの制限があるVXLAN



注意 メンテナンスウィンドウ中に次の変更を行う必要があります。

VXLAN（特にVRF関連の設定）で設定されたCisco NX-OS 9000 シリーズ スイッチをCisco NX-OSリリース 7.x から 9.3 から 10.3(6) 以前にアップグレードした後、2つの問題が発生します。

- startup-config は、レガシーと新しい両方のレイヤ 3 VNID 構成モードを表示します。
- TRM トラフィックのRPF がS,G の新しいモードに変更されるため、マルチキャストトラフィック転送の問題が発生します。

問題を修正するには、次の手順を実行します。

- 次のコマンドを使用して、REST 構成入力を有効にします。

```
feature nxapi
  nxapi http port 80
```

- ブラウザを開き、スイッチの管理 IP アドレスを入力します。これにより、[サンドボックス] ページが開きます。スイッチの管理者ログインと同じログイン情報を使用してサインインします。
- 上部の入力テキストボックスに、VNI ID の問題がある各VRFに対して次のコマンドを入力します：

```
vrf context tenant-1
  no vni 50000 13
```

- ページの右側では、[メソッド]を **NXAPI-REST (DME)** に設定し、入力タイプは次のままにします。 **cli**。

- **変換 (DN あり)** ボタン (ページの中央) をクリックします。これにより、設定変更に相当する XML が生成されます。
- 2 番目のテキストボックスに XML が表示されたら、**送信** をクリックして変更を適用し、スイッチから VNI ID 設定を削除します。
- 変更が適用されていることを確認するには、次のコマンドを実行します：

```
copy running-config startup-config
```

サポート対象外の PID

次の表に、さまざまな Cisco NX-OS リリースのサポートされていない PID のリストを示します。

サポート対象外の PID	Cisco NX-OS リリース
N9332C および N9364C	10.6(1)F
N9K-C92348GC-X	10.6(1)F
X9700-EX ライン カード (注) N9K-X97160YC EX ライン カードはサポートされています。	10.6(1)F
N9K-C93180YC-EX および N9K-C93108TC-EX	10.4(x)
N9K-X9732C-EX ラインカード	10.3(x)
N9K-C9364C-GX	9.3(16)
N9K-C93600CD-GX	9.3(16)
N9K-C9316D-GX	9.3(16)
N9K-C93180LC-EX	9.3(x)

ISSU プラットフォームのサポート

次の表に、標準および拡張 ISSU をサポートするプラットフォームと、サポートが導入されたときのリリースを示します。



- (注) 拡張 ISSU コンテナをリロードせずにターゲットリリースにカーネル更新を行う場合、サポートできません。システムに次のメッセージが表示されます。

Host kernel is not compatible with target image. Full ISSU will be performed and control plane will be impacted.

実際に、システムは拡張 ISSU の代わりに、中断のない ISSU を実行します。

Cisco Nexus 9200 プラットフォーム スイッチの ISSU

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
標準	Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I6(1) 以降 : Cisco Nexus 92300YC Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降 : Cisco Nexus 92348GC-X	次の機能が設定された Cisco Nexus 9200 プラットフォーム スイッチでは、どちらの ISSU タイプも中断を伴います。 - セグメント ルーティング - Tetration
Enhanced	Cisco Nexus 92300YC	(注) Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、Cisco Nexus 92348GC-X プラットフォーム スイッチで、BGP をアンダーレイとしてのみ使用するセグメント ルーティング トラフィック エンジニアリング (SR-TE) 機能で無停止 ISSU がサポートされています。サポートされていない機能の詳細については、次を参照してください： Cisco NX-OS ソフトウェアアップグレードの注意事項 (7 ページ)。 (注) Cisco NX-OS リリース 10.4(3)F 以降、Cisco Nexus 92348GC-X では無停止 ISSU はサポートされていません。サポートされていない機能の詳細については、次を参照してください： Cisco NX-OS ソフトウェアアップグレードの注意事項 (7 ページ)。

Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチの ISSU

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のない ISSU でサポートされない機能
標準	Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降 : Cisco Nexus 9332C Cisco Nexus 9364C (注) Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチの ISSU は、スイッチがスパンニング ツリー ルートの場合サポートされます。次の表で、show spanning-tree issu-impact スイッチがこの条件を満たしているかどうかを確認するには、コマンドを使用できます。	次の機能が設定された Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチでは、どちらの ISSU タイプも中断を伴います。 • デュアルホーム FEX • セグメント ルーティング • MACsec (注) Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチで、BGP をアンダーレイとしてのみ使用するセグメント ルーティング トラフィック エンジニアリング (SR-TE) 機能で無停止 ISSU がサポートされています。サポートされていない機能の詳細については、次を参照してください : Cisco NX-OS ソフトウェア アップグレードの注意事項 (7 ページ)。
拡張	Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降 : Cisco Nexus 9332C Cisco Nexus 9364C (注) Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチの ISSU は、スイッチがスパンニング ツリー ルートの場合サポートされます。次の表で、show spanning-tree issu-impact コマンドを使用して、スイッチがこの条件を満たしているかどうかを確認できます。	

Cisco Nexus 9300-X プラットフォーム スイッチの ISSU

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
標準	Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F 以降、VPC ファブリック ピアリングは Cisco Nexus 9300-X TOR でサポートされています。	Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F 以降、VPC ファブリック ピアリングの非中断型 ISSU では、次の VXLAN/VPC 機能はサポートされません。
Enhanced	Cisco NX-OS リリース	• TRM • VXLAN IPv6 アンダーレイ • VNF の比例マルチパス • VXLAN フラッド アンド ラーニング • HSRP および VRRP • VXLAN Cloudsec • VXLAN から SR へのハンドオフとすべてのハンドオフ機能 • マルチサイト • MACsec (注) Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、Cisco Nexus 9300-X プラットフォーム スイッチのアンダーレイとして BGP を使用した VXLAN から SR へのハンドオフで無停止 ISSU がサポートされています。

Cisco Nexus 9300-EX プラットフォーム スイッチの ISSU

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のない ISSU でサポートされない機能
標準	Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I6(1) 以降： Cisco Nexus 93108TC-EX Cisco Nexus 93180YC-EX	次の機能が設定された Cisco Nexus 9300-EX プラットフォーム スイッチでは、どちらの ISSU タイプも中断を伴います。 • セグメント ルーティング • Tetration • MACsec (注) Cisco NX-OS リリース 10.2 (1) 以降では、両方の ISSU タイプが、ストレートスルー FEX およびデュアルホーム接続 FEX で設定された Cisco Nexus 9300-EX プラットフォーム スイッチで中断されません。
拡張	Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I7(3) 以降： Cisco Nexus 93108TC-EX Cisco Nexus 93180YC-EX	

Cisco Nexus 9300-FX プラットフォーム スイッチの ISSU

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
標準	Cisco NX-OS リリース 9.3(1) および 9.3(2) : なし Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降 : Cisco Nexus 9336C-FX2 Cisco Nexus 93240YC-FX2 Cisco Nexus 93240YC-FX2Z Cisco Nexus 9348GC-FXP Cisco Nexus 93108TC-FX Cisco Nexus 93180YC-FX Cisco NX-OS リリース 10.2(1)F 以降 : Cisco Nexus 93180YC-FX3 Cisco Nexus 93180YC-FX3S Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降 : 9348GC-FX3 9348GC-FX3PH Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降 : 93108TC-FX3	

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
		標準ISSUは、次の機能が設定された Cisco Nexus 9300-FX プラットフォーム スイッチに影響を与えます。 • セグメント ルーティング • TRM 機能 • MACsec (注) Cisco NX-OS リリース 10.2 (1) 以降、標準ISSUは、ストレートスルーFEXおよびデュアルホーム接続FEXで設定されたCisco Nexus 9300-FX プラットフォームスイッチで中断がありません。 Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降、標準 ISSU は Cisco Nexus 93180YC-FX3 および FX3S プラットフォーム スイッチではサポートされません。 Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、標準 ISSU は Cisco Nexus 9300-FX および 9300-FX2 プラットフォーム スイッチではサポートされません。 (注) Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチで、BGPをアンダーレイとしてのみ使用するセグメント ルーティング トラフィック エンジンアリング (SR-TE) 機能で無停止 ISSU がサポートされています。サポートされていない機能の詳細について

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
		では、次を参照してください： Cisco NX-OS ソフトウェアアップグレードの注意事項（7 ページ） 。

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
Enhanced	Cisco NX-OS リリース 9.3(1)、9.3(2)、および 9.3(3) : なし Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降 : Cisco Nexus 9336C-FX2 Cisco Nexus 93240YC-FX2 Cisco Nexus 93216TC-FX2 Cisco Nexus 93360YC-FX2 Cisco Nexus 93240YC-FX2Z Cisco Nexus 9348GC-FXP Cisco Nexus 93108TC-FX Cisco Nexus 93180YC-FX Cisco NX-OS リリース 10.1 (1) 以降、Enhanced ISSUはFC / FCoE機能を備えた次のプラットフォームでサポートされます。 Cisco Nexus 93360YC-FX2 Cisco Nexus 93180YC-FX Cisco NX-OS リリース 10.2(1)F 以降、Enhanced ISSU は次のプラットフォームでサポートされます。 Cisco Nexus 93180YC-FX3 Cisco Nexus 93180YC-FX3S Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降 : 9348GC-FX3 9348GC-FX3PH Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降 : 93108TC-FX3 Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F 以降、Enhanced ISSUは FC/FCoE 機能を備えた次のプラットフォームでサポートされます。 N9K-C9336C-FX2-E	

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
		拡張ISSUは、次の機能が設定された Cisco Nexus 9300-FX プラットフォーム スイッチに影響を与えます。12-12-2020 17:2 • セグメント ルーティング • TRM 機能 • MACsec (注) Cisco NX-OS リリース 9.3 (x) では、FC/FCoE機能を搭載したCisco Nexus 93360YC-FX2およびCisco Nexus 93180YC-FXでの拡張ISSUは中断を伴います。 (注) Cisco NX-OS リリース 10.2 (1) 以降、Enhanced ISSU は、ストレートスルーFEXおよびデュアルホーム接続FEXで設定されたCisco Nexus 9300-FXプラットフォームスイッチで中断が発生しません。 Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降、Cisco Nexus 9300-FX3 および 9300-FX3S スイッチでは LXC モードのみがサポートされます。これにより、最小限のダウンタイムで拡張された無停止 ISSU を実行できます。 Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、Cisco Nexus 9300-FX および 9300-FX2 スイッチでは LXC モードのみがサポートされます。これにより、最小限のダウンタイムで拡張された無停止 ISSU を実行できま

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のない ISSU でサポートされない機能
		す。 (注) Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチで、BGP をアンダーレイとしてのみ使用するセグメントルーティングトラフィックエンジニアリング (SR-TE) 機能で無停止 ISSU がサポートされています。サポートされていない機能の詳細については、次を参照してください：Cisco NX-OS ソフトウェアアップグレードの注意事項 (7 ページ)。

Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチの ISSU

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
標準	Cisco NX-OS リリース 10.1(1) 以降 : Cisco Nexus 9364C-GX Cisco Nexus 9316D-GX Cisco Nexus 93600CD-GX (注) Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降、標準 ISSU は Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチでサポートされます。	• TRM 機能 • セグメント ルーティング (注) Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降、標準 ISSU は Cisco Nexus 9300-GX プラットフォーム スイッチでサポートされます。 (注) Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチで、BGP をアンダーレイとしてのみ使用するセグメント ルーティング トラフィック エンジン アリリング (SR-TE) 機能で無停止 ISSU がサポートされています。サポートされていない機能の詳細については、次を参照してください : Cisco NX-OS ソフトウェアアップグレードの注意事項 (7 ページ)。

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
Enhanced	Cisco NX-OS リリース 10.1(1) 以降 : Cisco Nexus 9364C-GX Cisco Nexus 9316D-GX Cisco Nexus 93600CD-GX Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F 以降、Enhanced ISSU は Cisco Nexus 9300-GX2B プラットフォーム スイッチでサポートされます。 Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F 以降、Enhanced ISSU は Cisco Nexus 9300-GX2A プラットフォーム スイッチでサポートされます。 Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降、Cisco Nexus 9300-GX スイッチでは LXC モードのみがサポートされます。これにより、最小限のダウンタイムで拡張された無停止 ISSU を実行できます。	• TRM 機能 • セグメント ルーティング (注) Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降では、Cisco Nexus 9300 プラットフォーム スイッチで、BGP をアンダーレイとしてのみ使用するセグメント ルーティング トラフィック エンジン アーキテクチャ (SR-TE) 機能で無停止 ISSU がサポートされています。サポートされていない機能の詳細については、次を参照してください : Cisco NX-OS ソフトウェア アップグレードの注意事項 (7 ページ)。

Cisco Nexus 9300-HX プラットフォームスイッチの ISSU

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
Enhanced	ブートモード LXC ISSU は、次の Cisco Nexus C9300-HX プラットフォーム スイッチでデフォルトでサポートされています。 • N9K-C9332D-H2R : Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降 • N9K-C93400LD-H1 : Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F 以降 • N9K-C9364C-H1 : Cisco NX-OS リリース 10.4(3)F 以降 (注) 10.4(x) または 10.5(x) リリースから 10.5(3)F リリースへの ND-ISSU は、N9K-C9364C-H1 ではサポートされていません。	次の機能は中断を伴わない ISSU ではサポートされていません。 • SR L2EVPN • ISIS および OSPF アンダーレイ • セグメント ルーティング を使用した vPC 設定 • 出力ピア エンジン アーキテクチャ • セグメント ルーティング と GRE の共存 • MACsec

Cisco Nexus 9400 プラットフォーム スイッチの ISSU

ISSU タイプ	リリース/サポートされるプラットフォーム	中断のないISSUでサポートされない機能
Enhanced	Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F以降、拡張 ISSU は Cisco Nexus C9408 プラットフォーム スイッチでサポートされます。	• TRM 機能 • セグメント ルーティング • MACsec

Cisco NX-OS ソフトウェア ダウングレードの注意事項

以前のソフトウェアリリースへのダウングレードを試行する前に、次の注意事項に従ってください。

- Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチをダウングレードする唯一の方法は、install all コマンドを使用することです。ブート変数の変更、設定の保存、およびスイッチのリロードの各操作は、スイッチのダウングレードではサポートされていません。

Cisco NX-OS リリース 9.3(x) から以前のリリースにダウングレードする必要がある場合は、ゲスト シェルを無効にします。

- FCoE (ファイバ チャネル オーバー イーサネット) NPV (N ポート仮想化) 設定で Cisco NX-OS リリース 9.3(x) からリリース 7.0(3)I4(1) への ISSU ダウングレードを実行すると、コア ファイルとともにポート チャネルがクラッシュします。

```
[##### ] 38%2016 Apr 18 20:52:35 n93-ns1 %$ VDC-1 %$ %SYSMGR-2-
SERVICE_CRASHED: Service "port-channel" (PID 14976) hasn't caught signal 11 (core
will
be saved)
```

- ISSU (中断なし) ダウングレードはサポートされていません。
- N9508-E2 ファブリック モジュールを搭載した Nexus 9500 スイッチでは、9.x または 10.x がサポートされているリリースからサポートされていないリリースの 7.x へのダウングレードはサポートされていません。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(x) から以前のリリースにダウングレードする場合、statistic per-entry コマンドが有効になっていて、RACL として適用されている ACL では、ダウングレード前に実行設定から statistics per-entry コマンドを削除する必要があります。そうしないと、この ACL が RACL として適用されるインターフェイスは、ダウングレード後にエラー無効になります。
- -FX または -FX + EX ライン カードを使用する Cisco Nexus 9500 シリーズ スイッチを、Cisco NX-OS リリース 10.1(x) から以前のリリース (9.2(x) または 7.x) にダウングレードする前に、NetFlow (ing-netflow) に適用する場合は、次のコマンドを使用してゼロ (0) に切り分ける必要があります。

hardware access-list tcam region ing-netflow 0

9.2(x) のデフォルトが 0 の一方、9.3(1) 以降のデフォルトの ing-netflow TCAM リージョンが 512 のため、設定変更が必要です。

- Cisco NX-OS リリース 10.1(x) から 9.3(x) 以前のリリースにダウングレードする場合は、ラベル共有機能がない場合に、入力機能の ACL TCAM 使用率が割り当てられた TCAM スペースを超えないようにしてください。ラベル共有は、Cisco NX-OS リリース 9.3(x) の新機能です。そうしないと、TCAM に適合しなかった RACL を持つインターフェイスは、ダウングレード後に無効になります。
- ソフトウェア ダウングレードは、次のコマンドを使用して実行する必要があります：
install all コマンドを使用します。ブート変数の変更、設定の保存、およびスイッチのロードの各操作は、スイッチのダウングレードではサポートされていません。
- 次の制限は、Trust Anchor Module (TAM) をサポートする Cisco Nexus プラットフォーム スイッチに適用されます。

Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降から以前のバージョンにダウングレードする場合、TACACS グローバル キーは復元できません。TAM は 9.3(3) でバージョン 7 に更新されましたが、以前の NX-OS バージョンでは TAM バージョン 3 が使用されていました。
- iCAM は、リリース 9.2(x) またはリリース 9.3(x) → 7.0(3)I7(1) にダウングレードする前に無効にする必要があります。iCAM が有効になっている場合は、リリース 9.3(1) → リリース 9.2(4) のみを実行できます。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(3) 以降では、SRAPP 用の新しい設定コマンドがあります (MPLS および SRTE のサブモード オプション付き)。リリース 9.3(3) (またはそれ以降) を実行しているスイッチの SRAPP 設定は、スイッチが以前のリリースにダウングレードされている場合は存在しません。
- デュアル スーパーバイザ モジュールのあるデバイスでは、ソフトウェアのダウングレード中に切り替えが発生した場合に接続を維持するため、両方のスーパーバイザ モジュールがコンソール ポートで接続されている必要があります。詳細については、[ハードウェア 設置ガイド](#) (使用しているシャーシのもの) を参照してください。
- Cisco NX-OS は、デフォルトで自動的にゲストシェルのインストールおよび有効化を行います。ただし、ゲストシェルをサポートしない Cisco NX-OS イメージでデバイスがリロードされる場合、既存のゲストシェルが自動的に削除され、%VMAN-2-INVALID_PACKAGE メッセージが発行されます。ベストプラクティスとして、以前の Cisco NX-OS イメージへのダウングレードを実施する前に **guestshell destroy** コマンドでゲスト シェルを削除してください。
- スイッチ プロファイルをサポートする Cisco NX-OS リリースからスイッチ プロファイルをサポートしない Cisco NX-OS リリースにダウングレードする場合、スイッチ プロファイル (構成されている場合) を削除する必要があります。詳細については、次の資料を参照してください。Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS システム管理設定ガイド、リリース 10.1(x)。
- ソフトウェア ダウングレードには中断が伴います。In-service software downgrade (ISSD、無停止のダウングレード) はサポートされていません。

- Cisco NX-OS リリース 10.2(1)F 以降から以前のリリースにダウングレードする場合、**install all** コマンドはブロックされます。遅延設定がトラックリストのブール/重みに存在する場合は該当します。
- 次を使用してCisco NX-OSリリース 10.2(3)F からCisco NX-OSリリース 10.2(2)F に ISSD を実行する場合 **epbr L2** が適用されているなら、ISSD を実行する前にインターフェイスからポリシーを削除して、トラックの重複の問題を回避します。
- Cisco NX-OSリリース 10.2(3)F 以降、**lldp chassis-id switch** コマンドで ISSD を実行する前にコマンドを無効にする必要があります。
- 10.2(3)F 以降、アクセスポートへの ePBR ポリシーの適用はサポートされていますが、この構成でのダウングレードは推奨されません。
- 機能 ngmvpn が有効で、Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F から Cisco NX-OS リリース 10.3(1)F への中断を伴うダウングレードが実行されますが、いくつかの VRF が show run の出力から欠落しています。これは表示の問題であり、機能への影響はありません。
- スイッチがCisco NX-OSリリース 10.3(3)F または 10.4(1)F からダウングレードする際、LXC モードからアップグレードが行われた場合でも、スイッチは常にネイティブモードになります。ダウングレード後にモードを維持するには、次の順序でダウングレードを実行してください。



(注)

- 次のセクションは、Cisco Nexus 9300-FX3 および 9300-GX プラットフォーム スイッチにのみ適用されます。
- ダウングレード時にシステムがネイティブモードで起動すると、ブートモード lxc が構成から削除されます。

• LXC モードのアップグレード/ダウングレード：例：

1. スイッチは、LXC モードの Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F で実行されています。
2. バージョンを Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F (LXC モード) にアップグレードします。
3. バージョンを Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F からネイティブモードにダウングレードします。
4. boot mode lxc configuration コマンドを実行し、構成を保存して、スイッチをリロードします。
5. スイッチは Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F LXC モードで起動します。

• ネイティブモードのアップグレード/ダウングレード：

例 1

1. スイッチ（9300-FX3 または 9300-GX）は、ネイティブ モードの Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F で実行されます。
2. バージョンを Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F（LXC モード）にアップグレードしてください。これら（9300-FX3 または 9300-GX）スイッチは LXC モードのみをサポートするからです。
3. 以前の Cisco NX-OS リリース（10.3(2) など）にダウングレードします。
4. Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F では、スイッチがネイティブ モードで起動します。

例 2

1. スイッチ（Cisco Nexus 9300-FX または 9300-FX2）は、Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F でネイティブ モードで実行されます。
 2. これらのスイッチは LXC モードのみをサポートするため、バージョンを Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F（LXC モード）にアップグレードします。
 3. 以前の Cisco NX-OS リリース（10.3(2) など）にダウングレードします。
 4. Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F では、スイッチがネイティブ モードで起動します。
- Cisco NX-OS リリース 10.4(2)F から、10.3(2)F を含む以前のリリースにダウングレードする場合、N9K-C9400-SW-GX2A Sup カードのポート 2xSFP Eth10/1-2 はサポートされません。
 - Cisco Nexus 9400 で機能セキュリティグループが有効になっている場合、機能セキュリティグループは 10.4(3)F リリース以前の 9400 ではサポートされていないため、10.5(1)F リリースから下位のリリースにダウングレードすることはできません。
 - Cisco NX-OS リリース 10.5(1)F からの s1 イメージフォーマットを持つ Nexus 9800 スイッチを、cs イメージフォーマットを持つ以前のリリースへダウングレードすることが、サポートされています。ただし、s1 イメージは以前のリリースには存在しないため、対応するリリースからの cs イメージを使用するようにダウングレードする必要があります。
 - IPv6 アンダーレイ機能を備えた DSVNI がサポートされている Cisco NX-OS リリース 10.5(2)F を使用している場合、この機能をサポートしていないリリースにダウングレードすると、DSVNI VLAN のトラフィック損失が発生します。これを回避するには、ダウングレードする前に、ダウンストリーム VNI 構成を含む IPv6 アンダーレイを必ず削除してください。
 - 送信元イメージとターゲット イメージの両方がタイプ 6 暗号化をサポートするダウングレード中、デバイスのリロード中にバイナリを復元せずに ASCII 再生がトリガーされると、プライマリ キーが失われます。プライマリ キーは、デバイスのリロード後に再構成する必要があります。 **key config-key ascii** コマンドを使用して、プライマリ キーを再設定し、暗号化の問題を回避します。ただし、送信元イメージとターゲット イメージの両方がタイプ 6 暗号化をサポートしている場合、バイナリ復元を使用したダウングレードでは、再起動後のプライマリ キーが保持されます。

タイプ 6 暗号化をサポートするイメージからタイプ 6 暗号化をサポートしないイメージにシステムをダウングレードすると、互換性チェックは失敗します。

- スイッチが Cisco NX-OS リリース 10.6(1)F からそれ以前のリリースにダウングレードされると、**allow feature-set fex** 設定が実行構成ファイルに追加されます。

アップグレードパス

すべてのリリースの ISSU 互換性とアップグレードパスに関する詳細については、次を参照してください：[Cisco Nexus 9000 and 3000 Upgrade and ISSU Matrix](#)。

アップグレードパッチ手順

Cisco Nexus 9500 シリーズスイッチでのみ、Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I1(2)、7.0(3)I1(3)、または 7.0(3)I1(3a) から他の Cisco NX-OS リリースへのソフトウェアアップグレードでは、アップグレードする前に 2 つのパッチをインストールする必要があります。**install all** コマンドを使用します。これらのパッチは、それぞれのリリースで使用でき、以下のリンクを使用してダウンロードできます。



注意 この手順に従わないと、アップグレード後にスイッチを回復するためにコンソールアクセスが必要になる場合があります。



(注) これらのパッチはアップグレード専用です。アップグレード後、パッチは自動的に削除されます。パッチのインストール後にアップグレードしない場合は、非アクティブにしないでください。パッチを非アクティブ化すると、**bios_daemon** がクラッシュする可能性があります。

[Cisco NX-OS リリース 7.0\(3\)I1\(2\) アップグレードパッチ](#)

[Cisco NX-OS リリース 7.0\(3\)I1\(3\) アップグレードパッチ](#)

[Cisco NX-OS リリース 7.0\(3\)I1\(3a\) アップグレードパッチ](#)

install all コマンドを使用してアップグレードする前にこれらのパッチをインストールするには、次の手順に従います。次に、NX-OS ソフトウェアパッチと 7.0(3)I1(2) から 7.0(3)I7(1) へのアップグレードの例を示します。

1. 両方のパッチを次のコマンドで追加します：**install add bootflash:{patch-file.bin}** コマンドを使用します。

```
switch(config)# install add bootflash:n9000-dk9.7.0.3.I1.2.CSCuy16604.bin
Install operation 16 completed successfully at Thu Mar 3 04:24:13 2016
switch(config)# install add bootflash:n9000-dk9.7.0.3.I1.2.CSCuy16606.bin
Install operation 17 completed successfully at Thu Mar 3 04:24:43 2016
```

2. 両方のパッチを次のコマンドでアクティブにします: **install activate {patch-file.bin}** コマンドを使用します。

```
switch(config)# install activate n9000-dk9.7.0.3.I1.2.CSCuy16604.bin
Install operation 18 completed successfully at Thu Mar 3 04:28:38 2016
switch (config)# install activate n9000-dk9.7.0.3.I1.2.CSCuy16606.bin
Install operation 19 completed successfully at Thu Mar 3 04:29:08 2016
```

3. 次のコマンドで両方のパッチをコミットします: **install commit {patch-file.bin}** コマンドを使用します。

```
switch(config)# install commit n9000-dk9.7.0.3.I1.2.CSCuy16604.bin
Install operation 20 completed successfully at Thu Mar 3 04:30:38 2016
switch (config)# install commit n9000-dk9.7.0.3.I1.2.CSCuy16606.bin
Install operation 21 completed successfully at Thu Mar 3 04:31:16 2016
```

4. 目的のターゲットリリースにNX-OS ソフトウェアをアップグレードします。 **install all** コマンドを使用します。

```
switch (config)# install all nxos bootflash:nxos.7.0.3.I7.1.bin
Installer will perform compatibility check first. Please wait.
uri is: /nxos.7.0.3.I7.1.bin
Installer is forced disruptive

Verifying image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin for boot variable "nxos".
[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image type.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "bios" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS
```

```

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "nxos" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "lcn9k" version info using image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Performing module support checks.
[#####] 100% -- SUCCESS

Notifying services about system upgrade.
[#####] 100% -- SUCCESS

```

Compatibility check is done:

Module	bootable	Impact	Install-type	Reason
1	yes	disruptive	reset	Incompatible image
6	yes	disruptive	reset	Incompatible image
8	yes	disruptive	reset	Incompatible image
9	yes	disruptive	reset	Incompatible image
10	yes	disruptive	reset	Incompatible image
11	yes	disruptive	reset	Incompatible image
14	yes	disruptive	reset	Incompatible image
15	yes	disruptive	reset	Incompatible image
16	yes	disruptive	reset	Incompatible image
21	yes	disruptive	reset	Incompatible image
22	yes	disruptive	reset	Incompatible image
23	yes	disruptive	reset	Incompatible image
24	yes	disruptive	reset	Incompatible image
25	yes	disruptive	reset	Incompatible image
26	yes	disruptive	reset	Incompatible image
27	yes	disruptive	reset	Incompatible image
28	yes	disruptive	reset	Incompatible image
29	yes	disruptive	reset	Incompatible image
30	yes	disruptive	reset	Incompatible image

Images will be upgraded according to following table:

Module	Image	Running-Version (pri:alt)	New-Version	Upg-Required
yes	1 lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)	
yes	1 bios	v01.42(00):v01.42(00)	v01.48(00)	
yes	6 lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)	
	6 bios	v01.48(00):v01.48(00)	v01.48(00)	

no				
	8	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	8	bios	v01.48(00):v01.29(00	v01.48(00
no				
	9	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	9	bios	v01.48(00):v01.35(00	v01.48(00
no				
	10	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	10	bios	v01.48(00):v01.42(00	v01.48(00
no				
	11	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	11	bios	v01.48(00):v01.52(00	v01.48(00
no				
	14	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	14	bios	v01.48(00):v01.48(00	v01.48(00
no				
	15	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	15	bios	v01.48(00):v01.40(00	v01.48(00
no				
	16	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	16	bios	v01.48(00):v01.42(00	v01.48(00
no				
	21	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	21	bios	v01.48(00):v01.42(00	v01.48(00
no				
	22	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	22	bios	v01.48(00):v01.40(00	v01.48(00
no				
	23	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	23	bios	v01.48(00):v01.40(00	v01.48(00
no				
	24	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	24	bios	v01.48(00):v01.40(00	v01.48(00
no				
	25	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	25	bios	v01.48(00):v01.40(00	v01.48(00
no				
	26	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	26	bios	v01.48(00):v01.40(00	v01.48(00
no				
	27	nxos	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	27	bios	v08.06(09/10/2014):v08.18(08/11/2015)	v08.26(01/12/2016)
yes				
	28	nxos	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	28	bios	v08.06(09/10/2014):v08.26(01/12/2016)	v08.26(01/12/2016)
yes				
	29	lcn9k	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I7(1)
yes				
	29	bios	v01.48(00):v01.35(00	v01.48(00

```
no
  30  lcn9k                                7.0(3)I1(2)                7.0(3)I7(1)
yes
  30  bios                                v01.48(00:v01.35(00          v01.48(00
no

Switch will be reloaded for disruptive upgrade.
Do you want to continue with the installation (y/n)? [n] y

Install is in progress, please wait.

Performing runtime checks.
[#####] 100% -- SUCCESS

Syncing image bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin to standby.
[#####] 100% -- SUCCESS

Setting boot variables.
[#####] 100% -- SUCCESS

Performing configuration copy.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 1: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 6: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 8: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 9: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 10: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 11: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 14: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 15: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 16: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 21: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 22: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
```

```

Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 23: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 24: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 25: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 26: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 27: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 28: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 29: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS

Module 30: Refreshing compact flash and upgrading bios/loader/bootrom.
Warning: please do not remove or power off the module at this time.
[#####] 100% -- SUCCESS
Finishing the upgrade, switch will reboot in 10 seconds.
switch(config)#
User Access Verification

switch login:
[ 2644.917727] [1456980048]  writing reset reason 88,

CISCO SWITCH Ver 8.26

CISCO SWITCH Ver 8.26
Memory Size (Bytes): 0x0000000080000000 + 0x0000000380000000
  Relocated to memory
Time: 6/3/2016  4:41:8
Detected CISCO IOFPGA
Bootimg from Primary Bios
Code Signing Results: 0x0
Using Upgrade FPGA
FPGA Revision      : 0x27
FPGA ID            : 0x1168153
FPGA Date          : 0x20160111
Reset Cause Register: 0x22
Boot Ctrl Register : 0x60ff
EventLog Register1 : 0x2000000
EventLog Register2 : 0xfbe77fff
Version 2.16.1240. Copyright (C) 2013 American Megatrends, Inc.
Board type 1
IOFPGA @ 0xe8000000
SLOT_ID @ 0x1b
Standalone chassis
check_bootmode: grub: Continue grub

```

```
Trying to read config file /boot/grub/menu.lst.local from (hd0,4)
Filesystem type is ext2fs, partition type 0x83

Booting bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin ...
Booting bootflash:/nxos.7.0.3.I7.1.bin
Trying diskboot
Filesystem type is ext2fs, partition type 0x83
IOFPGA ID: 1168153
Image valid

Image Signature verification was Successful.

Boot Time: 3/3/2016 4:41:44
INIT: version 2.88 booting
Unsquashing rootfs ...

Loading IGB driver ...
Installing SSE module ... done
Creating the sse device node ... done
Loading I2C driver ...
Installing CCTRL driver for card_type 3 ...
CCTRL driver for card_index 21000 ...
old data: 4000004 new data: 1
Not Micron SSD...

Checking all filesystems.....
Installing default sprom values ...
done.Configuring network ...
Installing LC netdev ...
Installing psdev ...
Installing veobc ...
Installing OBFL driver ...
mounting plog for N9k!
tune2fs 1.42.1 (17-Feb-2012)
Setting reserved blocks percentage to 0% (0 blocks)
Starting portmap daemon...
creating NFS state directory: done
starting 8 nfsd kernel threads: done
starting mountd: done
starting statd: done
Saving image for img-sync ...
Loading system software
Installing local RPMs
Patch Repository Setup completed successfully
dealing with default shell..
file /proc/cmdline found, look for shell
unset shelltype, nothing to do..
user add file found..edit it
Uncompressing system image: Thu Jun 3 04:42:11 UTC 2016
blogger: nothing to do.

..done Thu Mar 3 04:42:11 UTC 2016
Creating /dev/mcelog
Starting mcelog daemon
Overwriting dme stub lib
Replaced dme stub lib
INIT: Entering runlevel: 3
Running S93thirdparty-script...

2016 Mar 3 04:42:37 switch%$ VDC-1 %$ %USER-2-SYSTEM_MSG: <<%USBHSD-2-MOUNT>>
logflash: online - usbhsd
2016 Mar 3 04:42:37 switch%$ VDC-1 %$ Mar 3 04:42:37 %KERN-2-SYSTEM_MSG: [
12.509615] hwport mode=6 - kernel
```

```

2016 Mar  3 04:42:40 switch%$ VDC-1 %$ %VMAN-2-INSTALL_STATE: Installing virtual
service 'guestshell+'
2016 Mar  3 04:42:40 switch%$ VDC-1 %$ %DAEMON-2-SYSTEM_MSG:
<<%ASCII-CFG-2-CONF_CONTROL>> Binary restore - ascii-cfg[13904]
2016 Mar  3 04:42:40 switch%$ VDC-1 %$ %DAEMON-2-SYSTEM_MSG:
<<%ASCII-CFG-2-CONF_CONTROL>> Restore DME database - ascii-cfg[13904]
2016 Mar  3 04:42:42 switch%$ VDC-1 %$ netstack: Registration with cli server complete
2016 Mar  3 04:43:00 switch%$ VDC-1 %$ %USER-2-SYSTEM_MSG: ssnmgr_app_init called on
ssnmgr up - aclmgr
2016 Mar  3 04:43:09 switch%$ VDC-1 %$ %USER-0-SYSTEM_MSG: end of default policer -
copp
2016 Mar  3 04:43:10 switch%$ VDC-1 %$ %VMAN-2-INSTALL_STATE: Install success virtual
service 'guestshell+'; Activating
2016 Mar  3 04:43:10 switch%$ VDC-1 %$ %VMAN-2-ACTIVATION_STATE: Activating virtual
service 'guestshell+'
2016 Mar  3 04:43:13 switch%$ VDC-1 %$ %CARDCLIENT-2-FPGA_BOOT_PRIMARY: IOFPGA booted
from Primary
2016 Mar  3 04:43:18 switch%$ VDC-1 %$ %USER-2-SYSTEM_MSG: IPV6 Netlink thread init
successful - icmpv6
2016 Mar  3 04:43:19 switch%$ VDC-1 %$ %VDC_MGR-2-VDC_ONLINE: vdc 1 has come online

```

User Access Verification

switchlogin:

```

2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 1
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 6
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 8
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 9
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 10
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 11
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 14
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 15
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 16
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 21
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 22
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 23
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 24
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 25
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 26
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 28
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 29
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_PRESENT: Detected the presence
of Module 30
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-PS_OK: Power supply 1 ok (Serial
number XYZ284014RR)
2016 Mar  3 04:43:52 switch%$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-PS_FANOK: Fan in Power supply 1
ok

```

```
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-PS_OK: Power supply 2 ok (Serial
number XYZ285111TC)
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-PS_FANOK: Fan in Power supply 2
ok
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-PS_OK: Power supply 3 ok (Serial
number XYZ285111QQ)
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-PS_FANOK: Fan in Power supply 3
ok
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-PS_OK: Power supply 4 ok (Serial
number XYZ284014TI)
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-PS_FANOK: Fan in Power supply 4
ok
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-PS_OK: Power supply 5 ok (Serial
number XYZ284014TS)
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-PS_FANOK: Fan in Power supply 5
ok
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-FANMOD_FAN_OK: Fan module 1
(Fan1(sys_fan1) fan) ok
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-FANMOD_FAN_OK: Fan module 2
(Fan2(sys_fan2) fan) ok
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-FANMOD_FAN_OK: Fan module 3
(Fan3(sys_fan3) fan) ok
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 30 detected
(Serial number ABC1234DE56) Module-Type System Controller Model N9K-SC-A
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 30 powered up
(Serial number ABC1234DE56)
2016 Mar 3 04:43:52 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 28 detected
(Serial number :unavailable) Module-Type Supervisor Module Model :unavailable
2016 Mar 3 04:43:58 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 29 detected
(Serial number ABC1234DEFG) Module-Type System Controller Model N9K-SC-A
2016 Mar 3 04:43:58 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 29 powered up
(Serial number ABC1234DEFG)
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 21 detected
(Serial number ABC1213DEFG) Module-Type Fabric Module Model N9K-C9516-FM
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 22 detected
(Serial number ABC1211DEFG) Module-Type Fabric Module Model N9K-C9516-FM
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 21 powered up
(Serial number ABC1213DEFG)
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 22 powered up
(Serial number ABC1211DEFG)
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 23 detected
(Serial number ABC1234D5EF) Module-Type Fabric Module Model N9K-C9516-FM
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 23 powered up
(Serial number ABC1234D5EF)
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 24 detected
(Serial number ABC1211DE3F) Module-Type Fabric Module Model N9K-C9516-FM
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 24 powered up
(Serial number ABC1211DE3F)
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 25 detected
(Serial number ABC1213DEFG) Module-Type Fabric Module Model N9K-C9516-FM
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 25 powered up
(Serial number ABC1213DEFG)
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 26 detected
(Serial number ABC1211DE34) Module-Type Fabric Module Model N9K-C9516-FM
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 26 powered up
(Serial number ABC1211DE34)
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 1. Ejector based shutdown enabled
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 1 detected
(Serial number ABC1217DEFG) Module-Type 32p 40G Ethernet Module Model N9K-X9432PQ
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 1 powered up
(Serial number ABC1217DEFG)
2016 Mar 3 04:44:01 switch%$ VDC-1 $$ %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 9. Ejector based shutdown enabled
```

```

2016 Mar  3 04:44:01 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 9 detected
(Serial number ABC1236D4E5) Module-Type 48x1/10G-T 4x40G Ethernet Module Model
N9K-X9564TX
2016 Mar  3 04:44:01 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 9 powered up
(Serial number ABC1236D4E5)
2016 Mar  3 04:44:01 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 10. Ejector based shutdown enabled
2016 Mar  3 04:44:01 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 10 detected
(Serial number ABC1217EFGH) Module-Type 32p 40G Ethernet Module Model N9K-X9432PQ
2016 Mar  3 04:44:01 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 10 powered up
(Serial number ABC1217EFGH)
2016 Mar  3 04:44:01 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 11. Ejector based shutdown enabled
2016 Mar  3 04:44:02 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 11 detected
(Serial number ABC123DEF4) Module-Type 36p 40G Ethernet Module Model N9K-X9536PQ
2016 Mar  3 04:44:02 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 11 powered up
(Serial number ABC123DEF4)
2016 Mar  3 04:44:02 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 15. Ejector based shutdown enabled
2016 Mar  3 04:44:02 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 15 detected
(Serial number ABC1212DEFG) Module-Type 36p 40G Ethernet Module Model N9K-X9536PQ
2016 Mar  3 04:44:02 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 15 powered up
(Serial number ABC1212DEFG)
2016 Mar  3 04:44:02 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 16. Ejector based shutdown enabled
2016 Mar  3 04:44:02 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 16 detected
(Serial number ABCD1235DEFG) Module-Type 48x1/10G SFP+ 4x40G Ethernet Module Model
N9K-X9464PX
2016 Mar  3 04:44:02 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 16 powered up
(Serial number ABCD1235DEFG)
2016 Mar  3 04:44:08 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 14. Ejector based shutdown enabled
2016 Mar  3 04:44:08 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 14 detected
(Serial number ABC9876DE5F) Module-Type 8p 100G Ethernet Module Model N9K-X9408PC-CFP2
2016 Mar  3 04:44:08 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 14 powered up
(Serial number ABC9876DE5F)
2016 Mar  3 04:44:09 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 6. Ejector based shutdown enabled
2016 Mar  3 04:44:09 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 6 detected
(Serial number ABC9876DE3F) Module-Type 8p 100G Ethernet Module Model N9K-X9408PC-CFP2
2016 Mar  3 04:44:09 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 6 powered up
(Serial number ABC9876DE3F)
2016 Mar  3 04:44:10 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MODULE_EJECTOR_POLICY_ENABLED:
All Ejectors closed for module 8. Ejector based shutdown enabled
2016 Mar  3 04:44:10 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 8 detected
(Serial number ABC3456D7E8) Module-Type 48x1/10G-T 4x40G Ethernet Module Model
N9K-X9564TX
2016 Mar  3 04:44:10 switch%% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_PWRUP: Module 8 powered up
(Serial number ABC3456D7E8)
2016 Mar  3 04:44:56 switch%% VDC-1 %% %USBHSD-STANDBY-2-MOUNT: logflash: online
2016 Mar  3 04:47:31 switch%% VDC-1 %% %ASCII-CFG-2-CONF_CONTROL: System ready
2016 Mar  3 04:47:51 switch%% VDC-1 %% %VMAN-2-ACTIVATION_STATE: Successfully activated
virtual service 'guestshell+'
2016 Mar  3 04:47:51 switch%% VDC-1 %% %VMAN-2-GUESTSHELL_ENABLED: The guest shell
has been enabled. The command 'guestshell' may be used to access it, 'guestshell
destroy' to remove it.

```

User Access Verification

```

switch# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (C) 2002-2016, Cisco and/or its affiliates.
All rights reserved.

```

The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third parties and used and distributed under their own licenses, such as open source. This software is provided "as is," and unless otherwise stated, there is no warranty, express or implied, including but not limited to warranties of merchantability and fitness for a particular purpose. Certain components of this software are licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or GNU General Public License (GPL) version 3.0 or the GNU Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1 or Lesser General Public License (LGPL) Version 2.0. A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://opensource.org/licenses/gpl-3.0.html> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php> and <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/library.txt>.

Software

BIOS: version 08.26
NXOS: version 7.0(3)I7(1)
BIOS compile time: 06/12/2016
NXOS image file is: bootflash:///nxos.7.0.3.I7.1.bin
NXOS compile time: 2/8/2016 20:00:00 [02/09/2016 05:18:17]

Hardware

cisco Nexus9000 C9516 (16 Slot) Chassis ("Supervisor Module")
Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2403 0 @ 1.80GHz with 16401664 kB of memory.
Processor Board ID SAL1745FTPW

Device name: switch
bootflash: 20971520 kB

Kernel uptime is 0 day(s), 0 hour(s), 8 minute(s), 13 second(s)

Last reset at 235176 usecs after Thu Mar 3 04:40:48 2016

Reason: Reset due to upgrade
System version: 7.0(3)I1(2)
Service:

plugin

Core Plugin, Ethernet Plugin

Active Package(s):
switch#

拡張 ISSU

拡張 (LXC) ISSU を有効または無効にできます。Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、このセクションは N9364C および N9332C プラットフォームにのみ適用されます。



(注)

- ターゲットリリースにカーネルの更新がある場合、拡張 ISSU はコンテナをリロードしないとサポートできません。システムに次のメッセージが表示されます。

```
Host kernel is not compatible with target image. Full ISSU will be performed and control plane will be impacted.
```

実際に、システムは拡張 ISSU の代わりに、非中断 ISSU を実行します。

- [Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F から] Cisco N9K-C9332D-GX2B、N9K-C9348D-GX2A および N9K-C9364D-GX2A [Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F から] プラットフォーム スイッチの場合、拡張 (LXC) ISSU はデフォルト モードのため、このモードを有効または無効にできません。また、これらのスイッチの場合、仮想スーパーバイザ モジュールが次のコマンドの出力に表示されます: **show module** コマンドを使用します。Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降、これは Cisco Nexus 9300-FX3、9300-GX、および 9300-GX2 プラットフォーム スイッチにも該当します。Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、これは Cisco Nexus 9300-FX および 9300-FX2 プラットフォーム スイッチにも適用されます。
- FCF で、**disable-fka** を設定することが推奨されます。これは、Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F から 10.3(2)F 以降のバージョンへの NPV において、フォールバック ND LXC ISSU を呼び出す場合に当てはまります。そうでない場合、中断が発生する可能性があります。**show fcoe-npv issu-impact** コマンドの出力を確認して、**disable-fka** を設定する必要があるかどうかを確認します。

始める前に

LXC モードを有効にする前に、インストールしたライセンスのライセンス ファイルに 27000 という文字列が含まれていないことを確認します。



(注)

Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降、Cisco Nexus 9300-FX3 および 9300-GX スイッチは常に LXC モードで起動します。これにより、最小限のダウンタイムで拡張 ISSU を使用できます。Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、Cisco Nexus 9300-FX および 9300-FX2 スイッチは常に LXC モードで起動します。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **[no] boot mode lxc**
3. (任意) **show boot mode**
4. **copy running-config startup-config**
5. **reload**
6. (任意) **show version**
7. (任意) **show boot mode**
8. **show module**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config#)</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	[no] boot mode lxc 例 : <pre>switch(config)# boot mode lxc Using LXC boot mode</pre> 例 : <pre>switch(config)# no boot mode lxc Using normal native boot mode</pre>	拡張 (LXC) ISSU を有効または無効にします。 (注) 中断のない拡張 ISSU を実行するには、最初に LXC モードでスイッチを起動する必要があります。 Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降の Cisco Nexus 9300-FX3 および 9300-GX スイッチ、および Cisco NX-OS Release 10.4(1)F 以降の Cisco Nexus 9300-FX および 9300-FX2 スイッチでは、ブートモード lxc がデフォルトで有効になっています。ただし、これらのプラットフォームでは、ブートモード lxc はサポートされていません。
ステップ 3	(任意) show boot mode 例 : <pre>switch(config)# show boot mode LXC boot mode is enabled</pre> 例 : <pre>switch(config)# show boot mode LXC boot mode is disabled</pre>	拡張 (LXC) ISSU の有効/無効を示します。
ステップ 4	copy running-config startup-config 例 : <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行中の設定をスタートアップ コンフィギュレーションに保存します。
ステップ 5	reload 例 : <pre>switch(config)# reload This command will reboot the system. (y/n)? [n] Y loader></pre>	デバイスがリロードされます。プロンプトが表示されたら、 あり Y を入力して、再起動することを確認します。
ステップ 6	(任意) show version 例 :	ソフトウェアとハードウェアのバージョン情報を表示し、スイッチのモードも表示します。 (注)

	コマンドまたはアクション	目的												
	<pre>switch(config)# show version i "boot mode" ..NXOS boot mode:LXC switch#</pre>	Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降では、スイッチが LXC モードの場合、このコマンドは LXC モードをサポートするすべてのプラットフォームに適用されます。ただし、Cisco Nexus 9300-FX3 および 9300-GX スイッチのオプションは LXC のみです。Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、このコマンドは Cisco Nexus9300-FX および 9300-FX2 スイッチに適用されます。												
ステップ 7	(任意) show boot mode 例 : <pre>switch(config)# show boot mode Current mode is LXC.</pre>	現在のモードが拡張（LXC）ISSU かどうかを示します。												
ステップ 8	show module 例 : <pre>switch# show module Mod Ports Module-Type --- ----- ----- 1 64 64x100G/40G QSFP28 Ethernet Module N9K-C9364C-GX ok 27 0 Virtual Supervisor Module N9K-C9364C-GX active *</pre> <table><thead><tr><th>Mod</th><th>Sw</th><th>Hw</th><th>Slot</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>10.3(3)</td><td>1.0</td><td>NA</td></tr><tr><td>27</td><td>10.3(3)</td><td>1.0</td><td>VSUP</td></tr></tbody></table> <pre>Mod MAC-Address(es) Serial-Num --- ----- ----- 1 c4-b2-39-95-18-d8 to c4-b2-39-95-19-63 FDO23480XTZ 27 c4-b2-39-95-18-d8 to c4-b2-39-95-19-63 FDO23480XTZ Mod Online Diag Status --- ----- 1 Pass 27 Pass * this terminal session</pre>	Mod	Sw	Hw	Slot	1	10.3(3)	1.0	NA	27	10.3(3)	1.0	VSUP	スイッチが起動した後、モジュールに関する詳細を表示します。 (注) Cisco NX-OS リリース 10.3(3)F 以降では、スイッチが LXC モードの場合、このコマンドは LXC モードをサポートするすべてのプラットフォームに適用されます。ただし、Cisco Nexus 9300-FX3 および 9300-GX スイッチのオプションは LXC のみです。Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降、このコマンドは Cisco Nexus9300-FX および 9300-FX2 スイッチに適用されます。
Mod	Sw	Hw	Slot											
1	10.3(3)	1.0	NA											
27	10.3(3)	1.0	VSUP											

次のタスク

「Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレードセクション」の手順に従います。標準または拡張 ISSU を実行する場合は、必ず **non-disruptive** オプションを選択してください。

Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレード

最新のCisco NX-OS 10.5(x) リリースにアップグレードするには、次の手順を使用します。



- (注) アップグレード中にエラーメッセージが表示された場合、アップグレードは失敗し、その理由が表示されます。詳細については、*Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS* トラブルシューティングガイド、リリース 10.1 (x) で、考えられる原因と解決策を参照してください。

手順の概要

1. このアップグレード手順の例外については、ソフトウェアイメージファイルに関するリリース ノートを参照してください。詳細については、『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Release Notes](#)』。
2. コンソール ポート接続のデバイスにログインします。
3. イメージ ファイルをコピーするために必要なスペースがあることを確認します。
4. アクティブ スーパーバイザ モジュールにさらに多くのスペースが必要な場合、不要なファイルを削除して使用できるスペースを作ります。
5. スタンバイ スーパーバイザ モジュールに使用できるスペースがあることを確認します。
6. スタンバイ スーパーバイザ モジュールにさらに多くのスペースが必要な場合、不要なファイルを削除して使用できるスペースを作ります。
7. Cisco.com にログインし、使用しているデバイスのソフトウェア イメージ ファイルを次の URL から選択して、ファイル サーバにダウンロードします。 <http://software.cisco.com/download/navigator.html>。
8. 転送プロトコルを使用して、ソフトウェア イメージをアクティブ スーパーバイザ モジュールにコピーします。FTP、TFTP、SCP、SFTP を使用できます。
9. ソフトウェア イメージの MD5、SHA256、または SHA512 チェックサムを確認することにより、アップグレードを実行する前に、不完全または破損した NX-OS ソフトウェア イメージを検出できます。ソフトウェア イメージの MD5 チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>md5sum** コマンドを実行し、結果の値をソフトウェア イメージの公開された MD5 チェックサムと比較します。 [Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。ソフトウェア イメージの SHA512 チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>sha512sum** コマンドを実行し、結果の値を次のソフトウェア イメージの公開済み SHA512 チェックサムと比較します： [Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。
10. ソフトウェア イメージの MD5、SHA256、または SHA512 チェックサムを確認することにより、アップグレードを実行する前に、不完全または破損した NX-OS ソフトウェア イメージを検出できます。ソフトウェア イメージの MD5 チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>md5sum** コマンドを実行し、結果の値をソフトウェア イメージの公開された MD5 チェックサムと比較します。 [Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。ソフトウェア イメージ

の SHA512 チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>sha512sum** コマンドを実行し、結果の値を次のソフトウェアイメージの公開済み SHA512 チェックサムと比較します：[Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。

11. 実際にアップグレードを実行する前に、ソフトウェアのアップグレードの影響を確認します。
12. 実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションに保存します。
13. この手順は、Cisco NX-OS リリース 10.5(2)F までにのみ有効です。必要に応じて、次を使用して EPLD イメージをアップグレードします：**install all nxos <nxos-image> epld <epld-image>** コマンドを使用します。
14. 次を使用した Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレード：**install all nxos bootflash:filename [no-reload | non-disruptive | non-interruptive | serial| skip-epld | skip-bios-upgrade | skip-kernel-upgrade]** コマンドを使用します。
15. (任意) アップグレードプロセス全体を表示します。
16. (任意) ログインし、必要なソフトウェアバージョンがデバイスで実行されていることを確認します。
17. (任意) 必要に応じて、任意のライセンスをインストールし、必要な機能がデバイスで使用できるようにします。詳細については、『[Cisco NX-OS ライセンス ガイド](#)』。

手順の詳細

手順

ステップ 1 このアップグレード手順の例外については、ソフトウェアイメージファイルに関するリリースノートを参照してください。詳細については、『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Release Notes](#)』。

ステップ 2 コンソール ポート接続のデバイスにログインします。

ステップ 3 イメージファイルをコピーするために必要なスペースがあることを確認します。

```
switch# dir bootflash:
16384      Oct 30 17:05:32 2020  lost+found/
1964291584  Dec 08 19:44:33 2020  nxos.10.1.1.bin
...
Usage for bootflash://sup-local
 4825743360 bytes used
16312102912 bytes free
21137846272 bytes total
```

(注)

新しいイメージファイルのロードが成功しない場合、使用するデバイスに、少なくとも 1 つ前のリリースの Cisco NX-OS ソフトウェアのイメージ ファイルをダウンロードすることを推奨します。

ステップ 4 アクティブ スーパーバイザ モジュールにさらに多くのスペースが必要な場合、不要なファイルを削除して使用できるスペースを作ります。

```
switch# delete bootflash:nxos.9.2.1.bin
```

ステップ 5 スタンバイ スーパーバイザ モジュールに使用できるスペースがあることを確認します。

```
switch# dir bootflash://sup-standby/
16384   Oct 30 17:05:32 2020  lost+found/
1964291584   Dec 08 19:44:33 2020  nxos.10.1.1.bin
...
Usage for bootflash://sup-standby
4825743360 bytes used
16312102912 bytes free
21137846272 bytes total
```

ステップ 6 スタンバイ スーパーバイザ モジュールにさらに多くのスペースが必要な場合、不要なファイルを削除して使用できるスペースを作ります。

```
switch# delete bootflash://sup-standby/nxos.9.2.1.bin
```

ステップ 7 Cisco.com にログインし、使用しているデバイスのソフトウェア イメージファイルを次の URL から選択して、ファイル サーバにダウンロードします。 <http://software.cisco.com/download/navigator.html>。

ステップ 8 転送プロトコルを使用して、ソフトウェア イメージをアクティブ スーパーバイザ モジュールにコピーします。FTP、TFTP、SCP、SFTP を使用できます。

```
switch# copy scp://user@scpserver.cisco.com//download/nxos64.10.2.1.F.bin
bootflash:nxos64.10.2.1.F.bin
```

(注)

このコマンドは、Cisco NX-OS の以下のリリースでは廃止されています： 10.5(2)F

圧縮が必要なソフトウェア画像の場合は、送信元として SCP、HTTP、または HTTPS を使用し、宛先としてブートフラッシュまたは USB を使用する必要があります。次の例では SCP およびブートフラッシュを使用します。

```
switch# copy scp://user@scpserver.cisco.com//download/nxos64.10.2.1.F.bin
bootflash:nxos64.10.2.1.F.bin compact vrf management use-kstack
```

```
user1@10.65.42.196's password:
nxos64.10.2.1.F.bin 100% 1887MB 6.6MB/s 04:47
Copy complete, now saving to disk (please wait)...
Copy complete.
```

値は、**compact** キーワードは、ファイルをスーパーバイザ モジュールにコピーする前に NX-OS イメージを圧縮します。

(注)

ソフトウェア画像の圧縮は、SCP、HTTP、または HTTPS でのみサポートされています。その他のプロトコルで圧縮しようとする場合、システムは次のエラーを返します。

```
Compact option is allowed only with source as scp/http/https and destination
as bootflash or usb
```

(注)

圧縮された画像は、LXC 起動モードではサポートされません。

(注)

ソフトウェア画像の圧縮は、Cisco Nexus 9300 シリーズ プラットフォーム スイッチでのみサポートされます。

- ステップ 9** ソフトウェア イメージの MD5、SHA256、または SHA512 チェックサムを確認することにより、アップグレードを実行する前に、不完全または破損した NX-OS ソフトウェア イメージを検出できます。ソフトウェアイメージのMD5チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>md5sum** コマンドを実行し、結果の値をソフトウェアイメージの公開されたMD5チェックサムと比較します。[Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。ソフトウェアイメージの SHA512 チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>sha512sum** コマンドを実行し、結果の値を次のソフトウェアイメージの公開済み SHA512 チェックサムと比較します：[Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。

```
switch# show file bootflash:nxos.10.1.1.bin md5sum
2242a7f876f1304118fd175c66f69b34

switch# show file bootflash:nxos.10.1.1.bin sha512sum
7f25coe57ca137a79211fb3835338aae64acf9b021b75c0ec5d4156e873b4274ca4f98e9a74fe4c8961f5ace99ed65f3826650599369f84ab07265d7c5d61b57f
```

- ステップ 10** ソフトウェア イメージの MD5、SHA256、または SHA512 チェックサムを確認することにより、アップグレードを実行する前に、不完全または破損した NX-OS ソフトウェア イメージを検出できます。ソフトウェアイメージのMD5チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>md5sum** コマンドを実行し、結果の値をソフトウェアイメージの公開されたMD5チェックサムと比較します。[Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。ソフトウェアイメージの SHA512 チェックサムを確認するには、**show file bootflash:<IMAGE-NAME>sha512sum** コマンドを実行し、結果の値を次のソフトウェアイメージの公開済み SHA512 チェックサムと比較します：[Cisco Software のダウンロード](#) Web サイトからダウンロード可能な署名付きイメージです。

```
switch# show file bootflash:nxos64.10.2.1.F.bin md5sum
c49660952215822afd30bb7958a0765a

switch# show file bootflash:nxos64.10.2.1.F.bin sha256sum
2a64efbb381fabbb52054af74cf3efda1691772a49a70ddd35550431cadecf8e

switch# show file bootflash:nxos64.10.2.1.F.bin sha512sum
3bf6a771aa4a192a8e1383e348b26bb483356a9774d74ba39edbf7718248483b3391942d8103de8104deea8fda212266e70bd736220cff34943bd8e359432975
```

- ステップ 11** 実際にアップグレードを実行する前に、ソフトウェアのアップグレードの影響を確認します。

```
switch# # show install all impact nxos bootflash:nxos64.10.2.1.F.bin
```

互換性チェック中、[理由 (Reason)] フィールドに次の ISSU 関連のメッセージが表示されることがあります。

Reason フィールドのメッセージ	説明
ISSU の非互換イメージ	アップグレードしようとする Cisco NX-OS イメージは ISSU をサポートしていません。
デフォルトアップグレードはヒットレスではありません	デフォルトでは、ソフトウェアアップグレードプロセスは中断されます。次の non-disruptive オプションを構成してISSUを実行します。

- ステップ 12** 実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションに保存します。

```
switch# copy running-config startup-config
```

ステップ 13 この手順は、Cisco NX-OS リリース 10.5(2)F までにのみ有効です。必要に応じて、次を使用して EPLD イメージをアップグレードします：**install all nxos <nxos-image> epld <epld-image>** コマンドを使用します。

以下は、次のコマンドの出力例です：**install all nxos <nxos-image> epld <epld-image>** コマンドに適用されます。

```
switch# install all nxos nxos.10.1.1.bin epld n9000-epld.10.1.1.img

Installer will perform compatibility check first. Please wait.
Installer is forced disruptive

Verifying image bootflash:/nxos.10.1.1.bin for boot variable "nxos".
[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying EPLD image bootflash:/ n9000-epld.10.1.1.img.
[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image type.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "nxos" version info using image bootflash:/nxos.10.1.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "bios" version info using image bootflash:/nxos.10.1.1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Performing module support checks.
[#####] 100% -- SUCCESS

Notifying services about system upgrade.
[#####] 100% -- SUCCESS


switch# install all nxos nxos.10.1.1.IJD9.0.59.bin epld n9000-epld.10.2.1.F.img

Installer will perform compatibility check first. Please wait.
Installer is forced disruptive

Verifying image bootflash:/nxos.10.1.1.IJD9.0.59.bin for boot variable "nxos".
[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying EPLD image bootflash:/ n9000-epld.10.2.1.F.img.
[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image type.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "nxos" version info using image bootflash:/nxos.10.1.1.IJD9.0.59.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Preparing "bios" version info using image bootflash:/nxos.10.1.1.IJD9.0.59.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Performing module support checks.
[#####] 100% -- SUCCESS

Notifying services about system upgrade.
[#####] 100% -- SUCCESS
```

ステップ 14 次を使用した Cisco NX-OS ソフトウェアのアップグレード : **install all nxos bootflash:filename [no-reload | non-disruptive | non-interruptive | serial | skip-epld | skip-bios-upgrade | skip-kernel-upgrade]** コマンドを使用します。

```
switch# install all nxos bootflash:nxos64.10.5.3.F.bin
```

(注)

Cisco NX-OS リリース 10.5(3)F から、リロードなしまたは中断なしのオプションのいずれかで EPLD アップグレードを実行できます。

次のオプションを使用できます。

- **no-reload** : デバイスをリロードする前にソフトウェア アップグレードプロセスを終了します。

(注)

次の **install all** が **no-reload** オプションを使用する場合、デバイスをリロードする前は、追加の構成変更ができません。この状態で設定を保存し、NX-OS の新しいバージョンでデバイスをリロードすると、スタートアップ コンフィギュレーションが不正になる可能性があります。(10.5(3)F からの EPLD を使用した場合)。リリース 10.5(3)F 以降では、EPLD と BIOS はプログラムされていますが、アップグレードされていませんが、それらを有効にするにはスイッチのリロードが必要です。

- **non-disruptive** : インサースビス ソフトウェア アップグレード (ISSU) を実行して、データトラフィックの中断を防ぎます。(デフォルトでは、ソフトウェア アップグレードプロセスは中断されます)。リリース 10.5(3)F 以降では、EPLD と BIOS はプログラムされていますが、アップグレードされていませんが、それらを有効にするにはスイッチのリロードが必要です。
- **non-interruptive** : プロンプトなしでソフトウェアをアップグレードします。このオプションは、エラーや健全性チェックをすべてスキップします。
- **serial** : Cisco Nexus 9500 シリーズ スイッチの I/O モジュールを 1 つずつアップグレードします (デフォルトでは、I/O モジュールは並行してアップグレードされ、全体的なアップグレード時間が短縮されます。具体的な手順としては、ラインカードとファブリック モジュールの前半、ラインカードとファブリック モジュールの後半、最初のシステム コントローラ、2 番目のシステム コントローラという順序で I/O モジュールが並行してアップグレードされます)。
- **skip-epld** イメージではなく、nxos イメージのみをインストールします。このオプションは、10.5(3)F から利用できます。
- **skip-bios-upgrade** : nxos イメージだけをインストールし、BIOS アップグレードをスキップします。このオプションは、10.5(3)F から利用できます。
- **skip-kernel-upgrade** nxos イメージのみをインストールし、カーネル アップグレードをスキップします。このオプションは、10.5(3)F から利用できます。

(注)

- コマンドの **install all** コマンドを入力した場合は、コマンドにより互換性チェックが実行され、アップグレードされるモジュールが通知されます。さらに、インストールを続行するかどうかの確認が求められます。続行を選択すると、スイッチで現在実行されている NX-OS ソフトウェア イメージがインストールされ、必要に応じて、実行中の画像のさまざまなモジュールの BIOS がアップグレードされます。

- 10.5(3)F 以降では、イメージのアップグレード中に SMU を適用することもできるため次のコマンドを使用して、SMU をインストールします：**install all nxos <nxos image> package <smu package> non-disruptive non-interruptive** コマンドを使用します。

```
install all nxos nxos64-cs.10.5.3.F.bin.upg package  
nxos64-cs.CSCab123456-1.0.0-10.5.3.lib32_64_n9000.rpm non-disruptive non-interruptive
```

ステップ 15 (任意) アップグレードプロセス全体を表示します。

```
switch# show install all status
```

ステップ 16 (任意) ログインし、必要なソフトウェアバージョンがデバイスで実行されていることを確認します。

```
switch# show version
```

ステップ 17 (任意) 必要に応じて、任意のライセンスをインストールし、必要な機能がデバイスで使用できるようにします。詳細については、[『Cisco NX-OS ライセンス ガイド』](#)。

ファームウェアのダウンロード

ファームウェアの並列ダウンロード機能は、複数のダウンロードを同時に実行できるようにすることで、ネットワーク スイッチのトランシーバファームウェアのアップグレードに必要な時間を削減します。

注意事項と制約事項

- 並列処理のためにポートが正しくグループ化されていることを確認します。
- 異なるポート グループを並行して処理できますが、同じ Integrated Circuit (I2C) ライン上のポートは順次ダウンロードされます。
- CLI コマンドを使用して、次の操作を実行できます。
 - **開始 (Start)** : トランシーバへのファームウェアのダウンロードを開始します。



Note

シングルバンク トランシーバの場合、このアクションにより既存のファームウェアが直接上書きされます。デュアルバンク トランシーバの場合、新しいファームウェアは非アクティブなバンクにダウンロードされます。

- **実行** : 新しくダウンロードしたファームウェア イメージを有効にします。

**Note**

デュアル バンク トランシーバの場合、このコマンドは、以前にアクティブだったファームウェアを非アクティブにすると同時に、アクティブなバンクに切り替えることで、新しくダウンロードしたファームウェアをアクティブにします。

- **コミット**：今後のリセットまたはリブート時に使用できるようにアクティブなファームウェアイメージが記録されていることを確認して、ファームウェアの更新を完了します。
- システムリソースを監視して、ファームウェア スレッドがUSDスレッドなどの優先順位の高い操作を妨げないようにします。
- 値は、**info** コマンドは、ポートごとに実行する必要があるため、**start**、**commit**、および **run** などの他のコマンドとは異なり、範囲入力をサポートしません。
- ファームウェアのダウンロード中に物理OIR（オンラインでの挿入と取り外し）を実行しないでください。これを行うと、ダウンロードが中止され、既存のファームウェアファイルが破損し、光ファイバが検出されなくなります。回復するには、ファームウェアのダウンロードプロセスを再開します。
- ファームウェアのダウンロード中にシステムのリロードまたは電源の再投入を行うと、プロセスが中止され、光学系上の既存のファームウェアファイルが破損する可能性があります。これにより、システムの再起動後に光ファイバが検出されなくなります。機能を復元するには、ファームウェアのダウンロードプロセスを再開します。

ファームウェアのダウンロードのステップ

Before you begin

ファームウェアをスイッチおよびライン カード (LC) にコピーします。

ファームウェアのダウンロードを開始する前に、ファームウェアファイルがスイッチにコピーされ、それからラインカード (LC) にコピーされていることを確認してください。トランシーバのタイプが異なる場合は、異なるファームウェアファイルをLCにコピーし、適切に名前を付ける必要があります。

次のコマンドは、ファームウェアをスイッチおよびラインカード (LC) にコピーするために使用します。

1. **スイッチにコピー**：次のコマンドを使用して、ファームウェア ファイルをスイッチにコピーします。

```
switch# copy scp://10.30.216.148/<location of
firmware>/bank_trapp_qsfp-100g-sr-s_signed_rel_0.73.4.bin
bootflash:///bank_trapp_qsfp-100g-sr-s_signed_rel_0.73.4.bin vrf man use
```

2. **ラインカードにコピー**：ルートアクセスを取得し、次のコマンドを使用して、ファームウェア ファイルをスイッチからラインカード（LC）にコピーします。

```
run bash sudo su
bash# scp -r /bootflash/bank_trapp_qsf-100g-sr-s_signed_rel_0.73.4.bin
root@lcl:/var/sysmgr/tmp/firmware.bin
```

3. **ラインカードで確認します**：ラインカードにログインし、ファームウェア ファイルを確認します。

```
rlogin lcl
root@lcl:~# ls -lrt /var/sysmgr/tmp/firmware.bin
-rw-r--r-- 1 root root 831200 May 7 17:54 /var/sysmgr/tmp/firmware.bin
```

SUMMARY STEPS

1. debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port-range-comma-separated> **start** file-name <firmware-file>
2. debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port> **status**
3. debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port-range-comma-separated> **run**
4. debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port-range-comma-separated> **commit**

DETAILED STEPS

Procedure

ステップ 1 Warning

ファームウェア ダウンロード コマンドの実行には注意が必要です。誤ったファームウェア ファイルを使用すると、ダウンロードが失敗し、既存のファームウェアが破損する可能性があります。これは、障害状態から回復するためにファームウェアの再ダウンロードが必要になる場合があるため、シングルバンクのトランシーバには特に重要です。

- ダウンロードを開始する前に、ファームウェア ファイルが正しく、トランシーバモデルと互換性があることを確認します。
- ファイルパスと名前が正しいことをダブルチェックします。

```
debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port-range-comma-separated> start
file-name <firmware-file>
```

ファームウェアのダウンロードの開始（範囲を指定してダウンロード）：指定された範囲のポートへのファームウェアのダウンロードを開始するには、このコマンドをします。

Example:

```
module-1# debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port 1-10,6,15-16 start file-name
/var/sysmgr/tmp/firmware10.bin
```

- a) debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port> **start** file-name <firmware-file>

ファームウェアのダウンロードの開始（範囲を指定せずにダウンロード）：このコマンドを使用して、単一の指定されたポートへのファームウェアのダウンロードを開始します。

Example:

```
module-1# debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port 14 start file-name
/var/sysmgr/tmp/firmware10.bin
```

Note

- ファームウェアのダウンロードプロセス中、光モジュールは自動的にオフラインになり、ダウンロードが完了するとオンラインに戻ります。これは更新プロセスの正常な動作であり、手動による介入は必要ありません。

ステップ 2 `debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port> status`

ステータスのチェック：このコマンドを使用して、開始、実行、およびコミットの各操作の進行状況を確認し、ポートグループのキューの内容を表示します。

Example:

```
module-1# debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port 3 status
front_port_num[3] Status of Firmware Download
```

```
QUEUE content for the group of 8 ports
Port: 3, File: /var/sysmgr/tmp/firmware10.bin Op Type: Run
Port: 4, File: /var/sysmgr/tmp/firmware10.bin Op Type: Run
```

```
-> Run command is in queue
-> Downloading is not in progress
-> Run command is not in progress
-> Commit is not in progress
-> Download completed percentage: 100
```

```
Error occured in last five commands
```

```
-----
2025-02-19 11:08:57.199684: FP: 17 Command executed: 101- Start Firmware Download: Module Flags
Byte-8 Val: 0x0 Cdb Status Val: 0x0 Failure Message: Unable to open firmware file
2025-02-19 11:10:52.188798: FP: 17 Command executed: 101- Start Firmware Download: Module Flags
Byte-8 Val: 0x0 Cdb Status Val: 0x0 Failure Message: Unable to open firmware file
2025-02-19 11:44:14.468031: FP: 17 Command executed: 101- Start Firmware Download: Module Flags
Byte-8 Val: 0x0 Cdb Status Val: 0x40 Failure Message: CDB Status failed
```

```
Below values are updated after every start command
```

```
-----
Command 101 Module Flags Byte-8 Val 0x0 Cdb Status Val 0x40
```

Note

status コマンドを使用して、次のメッセージを探してダウンロードが正常に完了したことを確認します。

```
Download completed percentage: 100
Downloading is not in progress
No Command is in progress
```

ステップ 3 `debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port-range-comma-separated> run`

ファームウェアの実行：このコマンドを使用して、コミット後に指定されたポートの範囲でファームウェアを実行します。

Example:

```
module-1# debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port 1-10,6,15-16 run
```

ステップ 4 `debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port <port-range-comma-separated> commit`

ファームウェアのコミット：次のコマンドを使用して、ダウンロードしたファームウェアをポートの範囲にコミットします。

Example:

```
module-1# debug hardware internal linkctrl transceiver firmware fp-port 1-10,6,15-16 commit
```

vPC のアップグレード プロセス

プライマリ スイッチでの vPC トポロジのアップグレード プロセス

次のリストは、プライマリまたはオペレーショナル プライマリ vPC ロールのいずれかを有する vPC トポロジのスイッチ上のアップグレードプロセスを要約したものです。vPC 以外のトポロジでのスイッチのアップグレードと異なるステップは太字で示しています。



(注) vPC トポロジでは、2 台のピア スイッチを個別にアップグレードする必要があります。一方のピア スイッチでアップグレードを実行しても、vPC ピア スイッチは自動的に更新されません。

デュアルホーム非 vPC アクセス ネットワーク（三角形または Y 字型アクセス ネットワーク）では、STP が設定されているかどうかに関係なく、BFD が有効になっており、SVI に HSRP が設定されており、HSRP が BFD クライアントとして設定されていると、ND-ISSU n フォールバックモードを実行した後に、一時的なトラフィックが IPv4 ネイティブユニキャストとラベル付きトラフィックの両方でドロップすることがあります。

これに対処するには、ND-ISSU を実行する前に、すべての HSRP 対応 SVI のすべての HSRP IPv4 グループで、両方の HSRP ピアで **timer 2 120** を設定します。もし **timer 3 120** を構成すると、トラフィック損失の原因となる可能性があります。

1. vPC プライマリ スイッチで **install all** コマンドを発行すると、インストールのアップグレードが開始されます。
2. 互換性チェックにより、アップグレードの影響が表示されます。
3. アップグレードの影響に基づき、インストールが続行するか、停止します。
4. 両方の vPC ピア スイッチで設定がロックされます。
5. 現在の状態が保存されます。

6. システムが新しいイメージをアンロードして実行します。
7. システム ソフトウェアとアプリケーションの再起動が正常に行われます。
8. 新しいイメージでインストーラが再開されます。
9. これでインストールが完了しました。

インストールが完了すると、vPC プライマリ スイッチがアップグレードされます。



(注) vPC プライマリ スイッチがアップグレードされたバージョンを実行し、vPC セカンダリ スイッチが元のバージョンのソフトウェアを実行します。

セカンダリ スイッチでの vPC トポロジのアップグレード プロセス

次のリストは、セカンダリまたはオペレーショナル セカンダリ vPC ロールのいずれかを有する vPC トポロジのスイッチ上のアップグレードプロセスを要約したものです。vPC 以外のトポロジでのスイッチのアップグレードと異なるステップは太字で示しています。

1. **vPC セカンダリ スイッチで `install all` コマンドを発行すると、インストールのアップグレードが開始されます。**
2. 互換性チェックにより、アップグレードの影響が表示されます。
3. アップグレードの影響に基づき、インストールが続行するか、停止します。
4. 現在の状態が保存されます。
5. システムが新しいイメージをアンロードして実行します。
6. システム ソフトウェアとアプリケーションの再起動が正常に行われます。
7. 新しいイメージでインストーラが再開されます。
8. **プライマリ スイッチとセカンダリ スイッチでの設定のロックが解除されます。**
9. これでインストールが完了しました。

以前のソフトウェア リリースへのダウングレード



(注) ダウングレード中にエラーメッセージが表示された場合、ダウングレードは失敗し、その理由が表示されます。詳細については、Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS トラブルシューティングガイド、リリース10.2(x)で、考えられる原因と解決策を参照してください。

手順の概要

1. このダウングレード手順の例外については、ソフトウェアイメージファイルに関するリリース ノートを参照してください。詳細については、『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Release Notes](#)』。
2. コンソール ポート接続のデバイスにログインします。
3. ダウングレードするイメージファイルがアクティブ スーパーバイザ モジュール bootflash: に存在することを確認します。
4. ソフトウェア イメージ ファイルがない場合は、Cisco.com にログインし、使用しているデバイスのソフトウェア イメージ ファイルを次の URL から選択して、ファイル サーバーにダウンロードします。 <http://software.cisco.com/download/navigator.html>。
5. 転送プロトコルを使用して、ソフトウェア イメージをアクティブ スーパーバイザ モジュールにコピーします。FTP、TFTP、SCP、SFTP を使用できます。
6. ソフトウェアの非互換性に関してチェックします。
7. ダウングレード イメージと互換性のない機能をすべて無効化します。
8. ハードウェアの非互換性に関してチェックします。
9. サポートされていないモジュールの電源をすべてオフにします。
10. 実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションに保存します。
11. Cisco NX-OS ソフトウェアをダウングレードします。その際に **install all nxos bootflash <nxos_image_to_downgrade>** コマンドを使用します。
12. (任意) ダウングレード プロセス全体を表示します。
13. (任意) ログインし、必要なソフトウェアバージョンがデバイスで実行されていることを確認します。

手順の詳細

手順

- | | |
|--------|--|
| ステップ 1 | このダウングレード手順の例外については、ソフトウェアイメージファイルに関するリリース ノートを参照してください。詳細については、『 Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Release Notes 』。 |
| ステップ 2 | コンソール ポート接続のデバイスにログインします。 |
| ステップ 3 | ダウングレードするイメージ ファイルがアクティブ スーパーバイザ モジュール bootflash: に存在することを確認します。

switch# dir bootflash: |
| ステップ 4 | ソフトウェア イメージ ファイルがない場合は、Cisco.com にログインし、使用しているデバイスのソフトウェア イメージ ファイルを次の URL から選択して、ファイル サーバーにダウンロードします。
http://software.cisco.com/download/navigator.html 。

(注)
アクティブまたはスタンバイ スーパーバイザ モジュール bootflash: にさらに多くのスペースが必要な場合、 delete コマンドを使用して、不要なファイルを削除します。 |

- ステップ 5** 転送プロトコルを使用して、ソフトウェアイメージをアクティブ スーパーバイザ モジュールにコピーします。FTP、TFTP、SCP、SFTP を使用できます。

```
switch# switch# copy scp://user@scpserver.cisco.com//download/nxos.9.2.1.bin  
bootflash:nxos.9.2.1.bin
```

- ステップ 6** ソフトウェアの非互換性に関してチェックします。

```
switch# show incompatibility-all nxos bootflash:nxos.9.2.1.bin  
Checking incompatible configuration(s)  
No incompatible configurations
```

結果の出力に非互換性と解決策が表示されます。

- ステップ 7** ダウングレード イメージと互換性のない機能をすべて無効化します。

- ステップ 8** ハードウェアの非互換性に関してチェックします。

```
switch# show install all impact nxos bootflash:nxos.9.2.1.bin
```

- ステップ 9** サポートされていないモジュールの電源をすべてオフにします。

```
switch# poweroff module module-number
```

- ステップ 10** 実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションに保存します。

```
switch# copy running-config startup-config
```

- ステップ 11** Cisco NX-OS ソフトウェアをダウングレードします。その際に **install all nxos bootflash <nxos_image_to_downgrade>** コマンドを使用します。

(注)

コマンドの **install all** コマンドを入力した場合は、コマンドにより互換性チェックが実行され、アップグレードされるモジュールが通知されます。さらに、インストールを続行するかどうかの確認が求められます。続行を選択すると、スイッチで現在実行されている NXOS ソフトウェア イメージがインストールされ、必要に応じて、実行中のイメージのさまざまなモジュールの BIOS がアップグレードされます。

- ステップ 12** (任意) ダウングレード プロセス全体を表示します。

例：

```
switch# show install all status
```

- ステップ 13** (任意) ログインし、必要なソフトウェア バージョンがデバイスで実行されていることを確認します。

```
switch# show version
```

Cisco NX-OS のアップグレード履歴

Cisco Nexus 9000 スイッチの耐用期間中は、多くのアップグレード手順を実行できます。メンテナンス目的で実行する場合や、オペレーティングシステムを更新して新しい機能を取得する場合にアップグレードが発生します。時間の経過とともに、スイッチは何度も更新される可能性があります。アップグレードのタイプと発生時刻を表示すると、問題のトラブルシューティングやスイッチの履歴の把握に役立ちます。

Cisco Nexus 9000 スイッチは、時間の経過とともに実行されたすべてのアップグレードアクティビティをログに記録し、これらのイベントの包括的な履歴を提供します。保存されているアップグレード履歴タイプは次のとおりです。

- Cisco NX-OS システムのアップグレード
- 9Electronic Programmable Logic Device (EPLD) アップグレード
- Software Maintenance Upgrade (SMU) インストール

Cisco NX-OS のアップグレード履歴を表示します。 **show upgrade history** コマンドを使用します。出力には、以前にスイッチで発生したアップグレードアクティビティが表示され、各イベントの開始時刻と終了時刻が定義されます。以下は、次のコマンドの出力例です。 **show upgrade history** コマンドに適用されます。

```
switch# show upgrade history
```

	TYPE	VERSION	DATE	STATUS
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 03:08:17	Installation End
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 03:01:41	Installation started
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 02:16:25	Installation End
NXOS	EPLD	epld.img	06 Mar 2025 02:11:43	EPLD Upgrade completed
NXOS	EPLD	epld.img	06 Mar 2025 02:00:22	EPLD Upgrade started
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 01:52:46	Installation started
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 01:19:05	Installation End
NXOS	EPLD	epld.img	06 Mar 2025 01:19:04	EPLD Upgrade completed
NXOS	EPLD	epld.img	06 Mar 2025 01:07:42	EPLD Upgrade started
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 01:00:48	Installation started

Cisco NX-OS アップグレード履歴を表示します。 **show upgrade history details** コマンドを使用します。出力には、アップグレード履歴とともに、スイッチの [ログイン (LOGIN)] 列の下にユーザー ログインの詳細 (ユーザー名/セッション ID) が表示されます。以下は、次のコマンドの出力例です。 **show upgrade history details** コマンドに対して表示されます。

```
switch# show upgrade history details
```

	TYPE	VERSION	DATE	LOGIN
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 03:08:17	username/10.1.1.25
	Installation End			
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 03:01:41	username/10.1.1.25
	Installation started			
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 02:16:25	username/10.1.1.25
	Installation End			
NXOS	EPLD	epld.img	06 Mar 2025 02:11:43	
	EPLD Upgrade completed			
NXOS	EPLD	epld.img	06 Mar 2025 02:00:22	
	EPLD Upgrade started			
NXOS	system image	10.5(3)	06 Mar 2025 01:52:46	username/10.1.1.25

```
Installation started
NXOS system image 10.5(3)          06 Mar 2025 01:19:05  username/10.1.1.25
Installation End
NXOS EPLD          epld.img        06 Mar 2025 01:19:04
EPLD Upgrade completed
NXOS EPLD          epld.img        06 Mar 2025 01:07:42
EPLD Upgrade started
NXOS system image 10.5(3)          06 Mar 2025 01:00:48  username/10.1.1.25
Installation started
NXOS EPLD          n9000-epld.10.5.1.F.img 05 Mar 2025 23:29:18  username/10.1.1.25
EPLD Upgrade completed
NXOS EPLD          n9000-epld.10.5.1.F.img 05 Mar 2025 23:17:59  username/10.1.1.25
EPLD Upgrade started
NXOS EPLD          epld.img        05 Mar 2025 22:55:11
EPLD Upgrade completed
NXOS EPLD          epld.img        05 Mar 2025 22:37:36
EPLD Upgrade started
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。